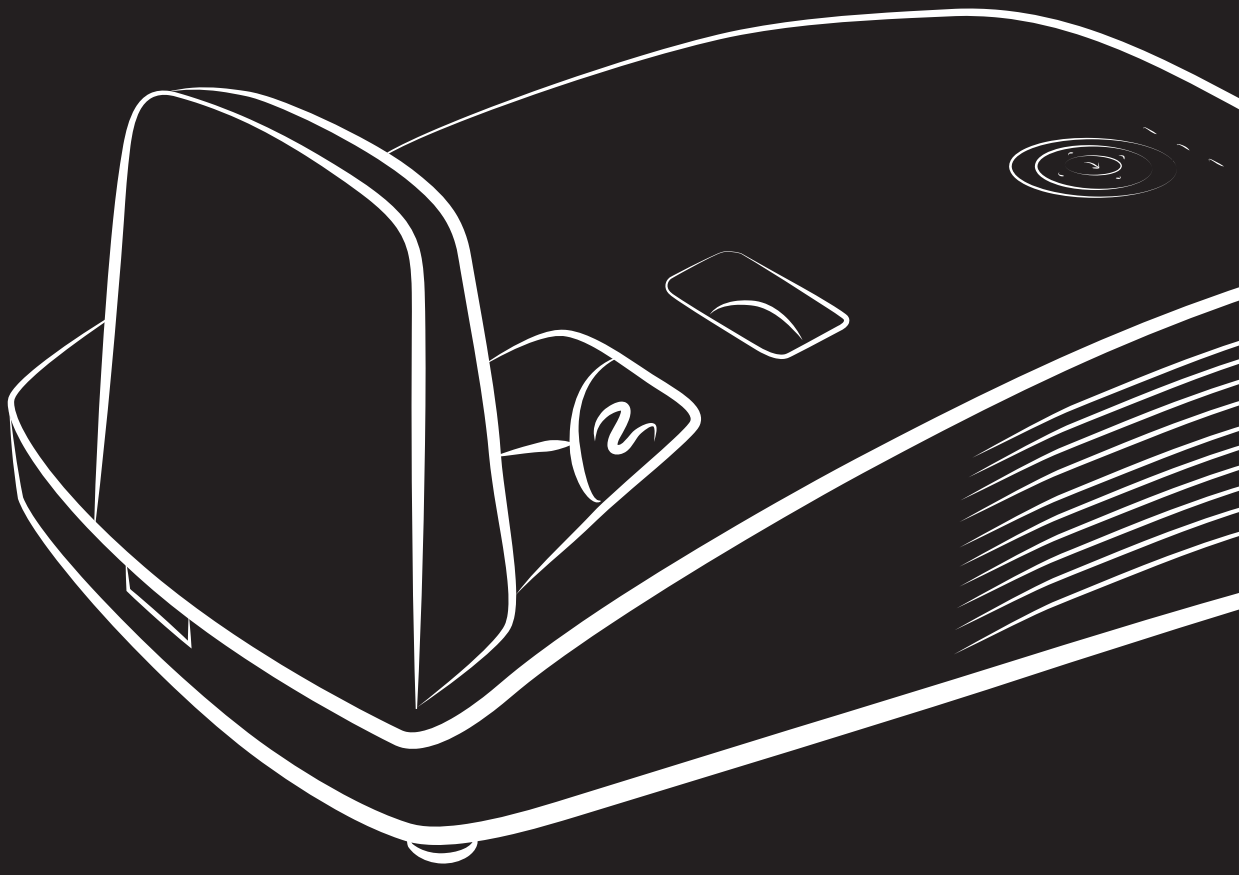
vivitek®
Vivid Color, Vivid Life

User's Manual
用戶手冊

DH758UST / DH758USTIR Series



PICTURE BY DLP®
TEXAS INSTRUMENTS

著作権

本書（すべての写真、図、ソフトウェアを含む）は、国際著作権法によって保護されており、無断転載は禁じられています。著者の許諾を受けることなく、本マニュアルおよび本マニュアル中の資料を複製することは禁じられています。

© Copyright 2014

免責事項

本書に記載された情報は予告なく変更されることがあります。製造元は本書の内容について一切の表明および保証をいたしません。また、商品性および特定目的への適合性について、いかなる黙示的保証もいたしません。製造元は、本書を随時改訂して、本書の内容を随時変更する権利を保有します。その際には、製造元は、誰に対しても改訂および変更について連絡する義務はないものとします。

商標について

Kensington は、全世界における登録交付済みおよび申請中の ACCO Brand Corporation の米国登録商標です。

HDMI、HDMI Logo、および High-Definition Multimedia Interface は米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

本マニュアルで使用されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者に帰属し、承認されています。

重要な安全上の注意事項

> ⚠ ***重要:***
> *プロジェクタをお使いに鳴る前に、本セクションを必ずお読みください。本セクションにある安全上の注意事項と使用上の注意事項は、長期に渡ってプロジェクタを安全にお使いいただくためのものです。**本マニュアルは後日参照できるように保管してください。***

使用されている記号について

ユニットおよび本マニュアルにある警告記号は危険な状態を表わします。
本マニュアルでは、次の記号を使って重要な注意事項を表わします。

> ***注記:***
> *追加情報を提供します。*

> ⚠ ***重要:***
> *注意が必要な追加情報を提供します。*

> ⚠ ***注意:***
> *ユニットの破損につながる可能性のある状態を表します。*

> ⚠ ***警告:***
> *ユニットの破損、危険な状態、けがにつながる可能性のある状態を表わします。*

本マニュアルでは、コンポーネントパーツおよびを OSD メニュー内の項目は、次の例にあるように、太字で書かれています。
「リモコンの **Menu（メニュー）**ボタンを押して **メイン**メニューを開きます。」

一般的な安全上の注意事項

- ユニットケースは開けないでください。プロジェクタランプ以外は、ユニット内には、ユーザーが修理できる部品はありません。点検修理については、資格のあるサービス担当者までご連絡ください。
- 本マニュアルおよびユニットケースにある警告および注意を遵守してください。
- 投映ランプは大変明るいように設計されています。ランプが点灯している場合は、レンズを覗き込まないでください。目を傷める危険があります。
- ユニットは不安定な面、カート、スタンドには置かないでください。
- システムは、水の近くや直射日光が当たる場所、または、暖房器具の近くでは使用しないでください。
- ユニットの上には、本や鞄など重いものを置かないでください。

プロジェクタの取り付けについて

- プロジェクタは水平に置いてください。
  プロジェクタの傾き角度は 15 度を越えないようにします。また、プロジェクタは、デスクトップや天井取り付け以外の方法で取り付けないでください。ランプの寿命が著しく低下し、***他の予測できない損傷を被る可能性があります。***

- 排気口の周辺には最低 50 cm の空間を保ちます。

- 排気口からの熱い空気が吸気口に入らないようにします。
- プロジェクタを囲まれた空間で使用する場合は、プロジェクタの動作中に、囲まれた空間内の周囲空気温度が動作温度を超えないようにします。また、吸気口と排気口を塞がないようにします。
- 囲まれた空間はすべて認定された温熱評価に適合しなければなりません。これによって、プロジェクタが排気を再使用しないようにします。プロジェクタが排気を再利用すると、囲まれた空間内の温度が動作温度の許容範囲内の場合でも、機器がシャットダウンすることがあります。

設置場所の確認

- 電源を供給するには、3 ブレード（アース付き）のコンセントを使用し、プロジェクタシステムの装置すべてについて、適切な接地と、等電位化を確実にします。
- プロジェクタに付属の電源コードをご使用ください。コードが紛失した場合は、その他の規格に準じた 3 ブレード（アース付き）の電源コードを代わりに使用することができます。ただし、２ブレードの電源コードは使用しないでください。
- 電圧が安定しており、適切にアースされ、漏電がないことを確認します。
- 安全容量を超えない合計消費電力を測定し、安全問題とショートを避けます。
- 高地では、高度モードをオンにします
- プロジェクタは縦置きまたは反転状態でのみ取り付けることができます。
- ブラケットを取り付けるとき、重量制限を超えずしっかり固定されていることを確認してください。
- エアコンのダクトやサブウーファーの傍への設置は避けてください。
- 高温、不十分な冷却および埃の多い場所への設置は避けてください。
- 赤外線干渉に起因する誤動作を避けるために、製品を蛍光灯に近づけないでください。
- VGA 入力コネクタは VGA 入力ポートに接続する必要があります。最適な表示のためにも、両方をネジで留めてしっかりと挿入し、必ず信号ワイヤを適切に接続します。
- オーディオ入力コネクタは、オーディオ入力ポートに接続します。オーディオ出力や BNC、 RCA といったその他のポートに接続することはできません。出力がミュートになったり、ポートを損傷したりする恐れがあります。
- 損傷を避けるために、プロジェクタは 200cm より高い場所に設置してください。
- 電源コードや信号ケーブルは、プロジェクタに電源を入れる前に接続します。プロジェクタが立ち上がっている最中は、プロジェクタの損傷の原因となりますので、信号ケーブルや電源コードを接続したり、抜いたりしないでください。

冷却に関する注意

空気吹き出し口

- 冷却が妨げられないように、空気吹き出し口から 50cm 以内に妨害物を置かないようにしてください。
- イリュージョンの原因となるため、他のプロジェクタのレンズの前に空気吹き出し口がこないようにしてください。
- 空気吹き出し口は、他のプロジェクタの吸入口から 100cm 以上離すように設置してください
- 使用中、プロジェクタは多くの熱を発生します。プロジェクタをシャットダウンしてからしばらくの間は、内部のファンが熱を放出するために稼動します。プロジェクタがスタンバイモードに入ってから、AC 電源ボタンを押し、プロジェクタの電源を切り、電源コードを抜いてください。損傷の原因となりますので、シャットダウンプロセスの最中に電源コードを抜かないでください。一方で、熱の放出を遅らせると、プロジェクタの製品寿命にも影響します。シャットダウンプロセスは、お使いのモデルによって異なります。いかなる場合でも、プロジェクタがスタンバイモードになってからのみ電源コードを抜いてください。

空気吸入口

- 空気吸入を妨げる物体を吸入口から 30cm 以内に置かないようにしてください。
- 吸入口は他の熱源に近づけないでください
- きわめて埃の多い場所は避けてください

電源についての安全上の注意事項

- 付属の電源コードだけをお使いください。
- 電源コードの上には物を置かないでください。電源コードは踏まれないように配線してください。
- 保管したり、長期間使用しない場合は、電池をリモコンから取り外します。

ランプを交換する

ランプの交換は、正しく行なわないと危険なことがあります。ランプの交換に関する安全上の注意事項については、*投映ランプを交換する* ページの「45」を参照してください。ランプを交換する前に:

- 電源コードの接続を外します。
- ランプが冷めるまで約 1 時間待ちます。

> ⚠ ***注意:***
> *万一、通常の操作中に電球が焼き切れた場合、ガラス粉や破片が背面の通気孔から放出されることがあります。*
>
> *ガラス粉を吸い込んだり、ガラス破片に触れたりしないでください。負傷の原因となります。*
>
> *ランプのガスや割れた破片で負傷しないように、通気孔から常に顔を背けるようにしてください。*

プロジェクタを清掃する

- 清掃の前に、電源コードの接続を外します。*プロジェクタを清掃する* ページの「50」を参照してください。
- ランプが冷めるまで約 1 時間待ちます。

法規制についての警告

プロジェクタを取り付けて使用する前に、*法規制準拠* セクション（「64 」ページ）の規制通知をお読みください。

リサイクリングについての重要な注意事項

Hg 本製品内のランプには水銀が含まれています。本製品には、正しく廃棄しないと危険な可能性のあるその他の電子廃棄物が含まれていることがあります。リサイクリングや廃棄は、地方法、州方、または、連邦法に従います。詳細情報については、電子工業会（Electronic Industries Alliance WWW.EIAE.ORG）までお問い合わせください。ランプの廃棄に関する情報については、WWW.LAMPRECYCLE.ORG をご覧ください。

記号の説明

廃棄:電気・電子機器は、家庭ごみや一般ごみと一緒に廃棄しないでください。欧州連合加盟国では、リサイクリングのための分別収集が求められています。

本マニュアルについて

本マニュアルでは、エンドユーザー向けに、DLP プロジェクタの取り付け方法および操作方法を説明します。関連情報（取り付けおよびその説明など）はできるだけ同じページに記載しています。プリンターフレンドリーな形式なので、印刷が簡単なことに加え、紙を節約して環境を保護します。必要なセクションだけを印刷することを推奨します。

目次

始めましょう 1

同梱されているもの 1
プロジェクタの各部の説明 2
前面図 2
上から見た図—オンスクリーンディスプレイ（OSD）ボタンと LED 3
背面図 4
底面図 6
リモコンの各部の名称 7
リモコンの動作範囲 9
プロジェクタとリモコンのボタン 9

セットアップと操作 10

リモコンに電池を挿入する 10
プロジェクタを起動する/シャットダウンする 11
アクセスパスワードを設定する（セキュリティー・ロック） 12
プロジェクタの高さを調整する 14
フォーカスとキーストーンを調整する 15
音量を調整する 15

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー設定 16

OSD メニューコントロール 16
OSD をナビゲートする 16
OSD 言語を設定する 17
OSD メニューの概要 18
イメージメニュー 21
コンピュータメニュー 22
アドバンス機能 23
カラーマネージャ 24
設定 1 メニュー 25
音声 26
詳細 1 機能 27
詳細 2 機能 29
設定 2 メニュー 30
状態 31
詳細 1 機能 32
詳細 2 機能 43

メンテナンスとセキュリティ 45

投映ランプを交換する 45
ランプをリセットする 47
フィルターの清掃（フィルター： オプション部品） 48
フィルターの交換 49
プロジェクタを清掃する 50
プロジェクタミラーの清掃： 50
ケースを清掃する 51
物理的ロックを使用する 52
Kensington™ ロックを使用する 52
セキュリティバーを使用する 52

トラブルシューティング 53

一般的な問題と解決方法 53
トラブルシューティングについてのアドバイス 53

LED エラーメッセージ....54
画像の問題....54
ランプの問題....55
リモコンの問題....55
音声の問題....56
プロジェクタを点検修理に出す....56
HDMI に関するよくあるご質問....57

仕様....58

仕様....58
投映距離と投映サイズ....59
投映距離とサイズの一覧....59
タイミングモード一覧....60
プロジェクタ寸法（DH758UST シリーズ）....62
プロジェクタ寸法（DH758USTIR シリーズ）....63

法規制準拠....64

FCC 警告....64
カナダ....64
安全認定....64

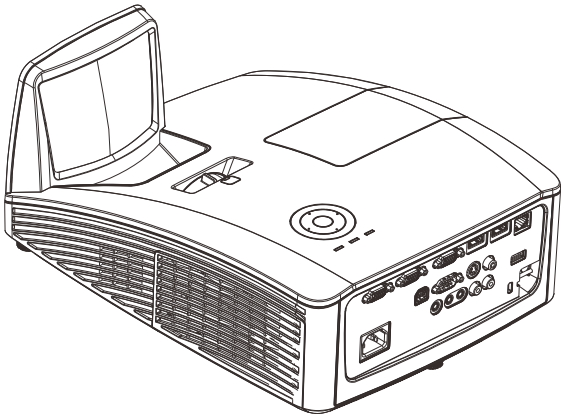
付録 I....65

RS-232C プロトコル....65

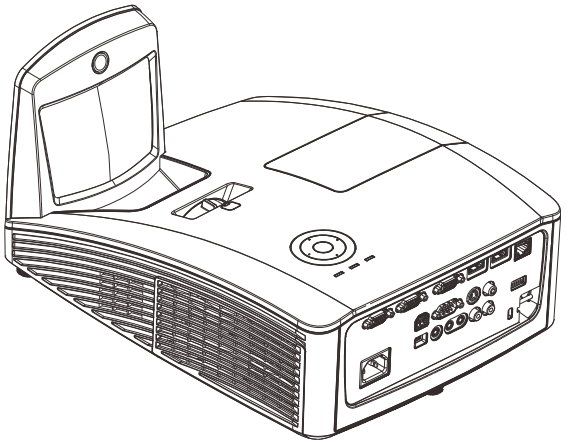
始めましょう

同梱されているもの

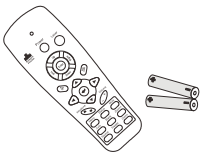
プロジェクタを丁寧に開梱して、次のものがすべて揃っていることを確認します。



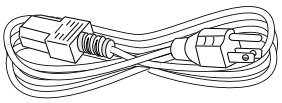
DLP プロジェクター（DH758UST シリーズ）



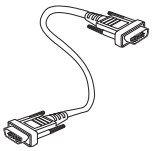
インタラクティブプロジェクタ
（DH758USTIR シリーズ）



リモコン
（単 4 電池 2 本付き）

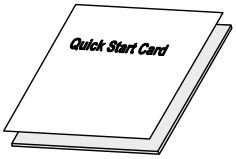


電源コード



VGA ケーブル

CD-ROM
（このユーザーズマニュアル）

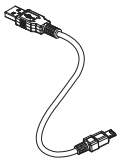


クイックスタートガイド

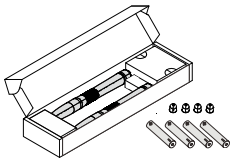
保証カード

以下のアイテムは、DH758USTIR シリーズ用のみです

CD-ROM
（インタラクティブドライバおよびソフトウェア）



USB ケーブル
（A タイプ- ミニ）



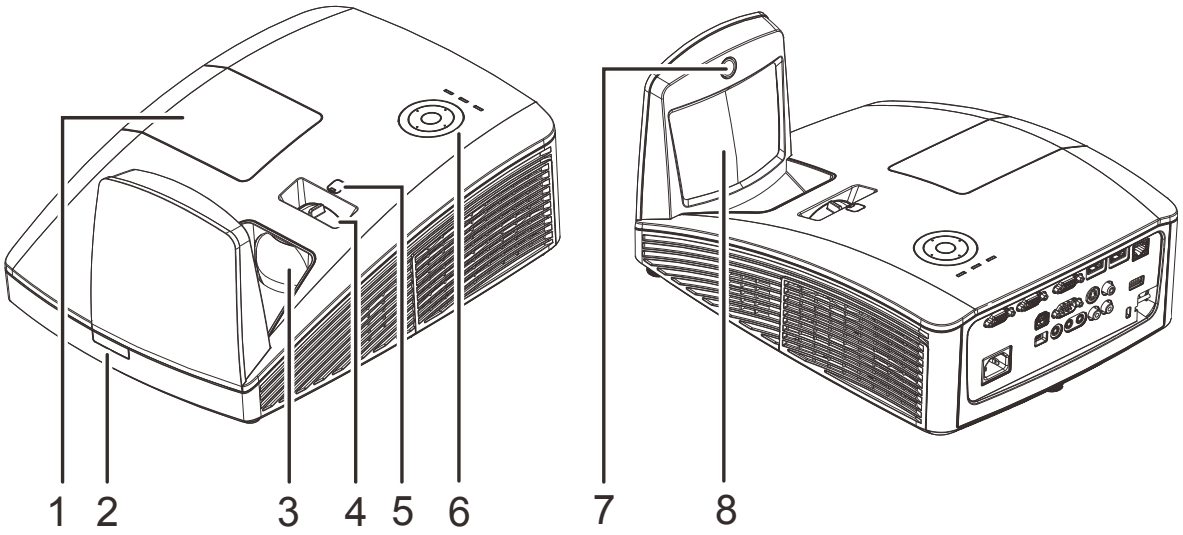
ペンボックス
（単 4 電池 4 本およびチップ 4 式付き）

不足しているものや破損しているものがある場合や、ユニットが動作しない場合は、直ぐに販売代理店までご連絡ください。機器を保証点検修理に出す場合のために、元の梱包材を保管することを推奨します。

⚠ ***注意:***
プロジェクタは埃の多い場所では使用しないでください。

プロジェクタの各部の説明

前面図

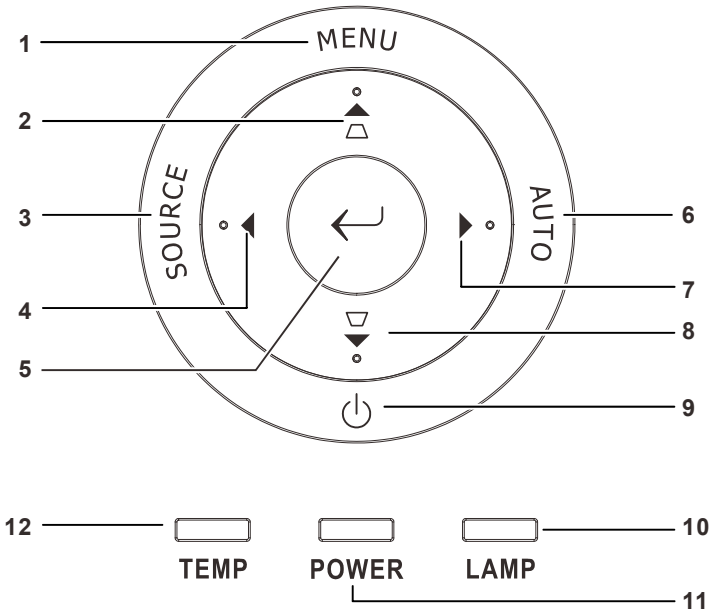


項目	名称	説明	参照ページ:
1.	ランプカバー	ランプモジュールを交換するにはカバーを取り外します	
2.	赤外線受信機	リモコンからの赤外線信号を受信します	
3.	レンズ	投映レンズ	
4.	フォーカスリング	投映画像の焦点を合わせます	
5.	手動レンズシフト	画像垂直シフト調整用(予約済)	
6.	ファンクションキー	「上から見た図—オンスクリーンディスプレイ（OSD）ボタンと LED」を参照してください。.	***3***
7.	インタラクティブカメラ (*)	インタラクティブ機能の使用	
8.	非球面鏡	画像を反射します	

⚠ ***重要:***
プロジェクタの通気開口部は、空気を循環してプロジェクタランプが過熱しないようにするためのものです。通気開口部は塞がないでください。

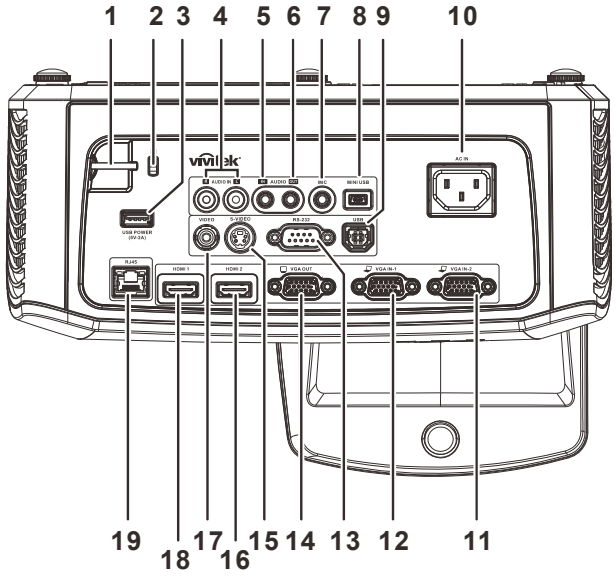
注記:
(*) DH758USTIR シリーズで利用可能です。

上から見た図—オンスクリーンディスプレイ（OSD）ボタンと LED



項目	名称	説明		参照ページ:
1.	MENU（メニュー）	このボタンを押して、OSD メニューを開いたり閉じたりします		16
2.	▲	OSD のナビゲーション クイックメニュー – キーストーンの場合		
3.	SOURCE（ソース）	ソースメニューを開きます		
4.	◀	OSD 内の設定をナビゲートしたり変更します		16
5.	↵	強調表示した OSD メニュー項目を入力したり確定します		
6.	AUTO（オート）	画像のサイズ、位置、および、解像度を最適化します		
7.	▶	OSD 内の設定をナビゲートしたり変更します		16
8.	▼	OSD のナビゲーション クイックメニュー – キーストーンの場合		
9.	⏻	プロジェクタの電源をオン/オフします		
10.	ランプ LED	赤	ランプ失敗	54
		点滅	エラーコード	
11.	電源 LED	緑	電源オン準備（スタンバイ） ランプが点灯するとシステム安定 過熱	
		点滅	システム初期、電源オン、 クーリング、エラーコード	
12.	温度 LED	赤	過熱	

背面図



項目	名称	説明	参照ページ:
1.	セキュリティバー	セキュリティおよび認可された使用の確認用	52
2.	ケンジントンロック	Kensington® Lock システムでプロジェクタを固定します	
3.	USB 電源(5V-2A)	電源供給用 USB ケーブルを接続します （DT01 用）	
4.	オーディオ L/R （ビデオ/S ビデオ用）	オーディオ機器からのオーディオケーブルを接続します	
5.	オーディオ入力 （VGA-1/VGA-2 用）	オーディオ機器からのオーディオケーブルを接続します	
6.	音声出力	オーディオアンプにオーディオケーブルを接続します	
7.	MIC	使用するマイクを接続します	
8.	ミニ USB (*)	USB ケーブルを PC に接続します（インタラクティブ機能用）	
9.	USB	コンピュータからの USB ケーブルを接続します	
10.	AC 入力	電源ケーブルを接続します	11
11.	VGA – 2	コンピュータまたはコンポーネント機器からの RGB ケーブルを接続	
12.	VGA – 1	コンピュータまたはコンポーネント機器からの RGB ケーブルを接続	
13.	RS-232	リモコン用の RS-232 シリアルポートケーブルを接続します	
14.	VGA 出力	RGB ケーブルをディスプレイに接続します （VGA 入力 1 専用ループスルー）	
15.	S ビデオ	ビデオ機器からの S ビデオケーブルを接続します	
16.	HDMI 2	HDMI 機器からの HDMI ケーブルを接続します	
17.	ビデオ	ビデオ機器からのコンポジットケーブルを接続します	
18.	HDMI 1	HDMI 機器からの HDMI ケーブルを接続します	
19.	RJ – 45	イーサネットからの LAN ケーブルを接続します	

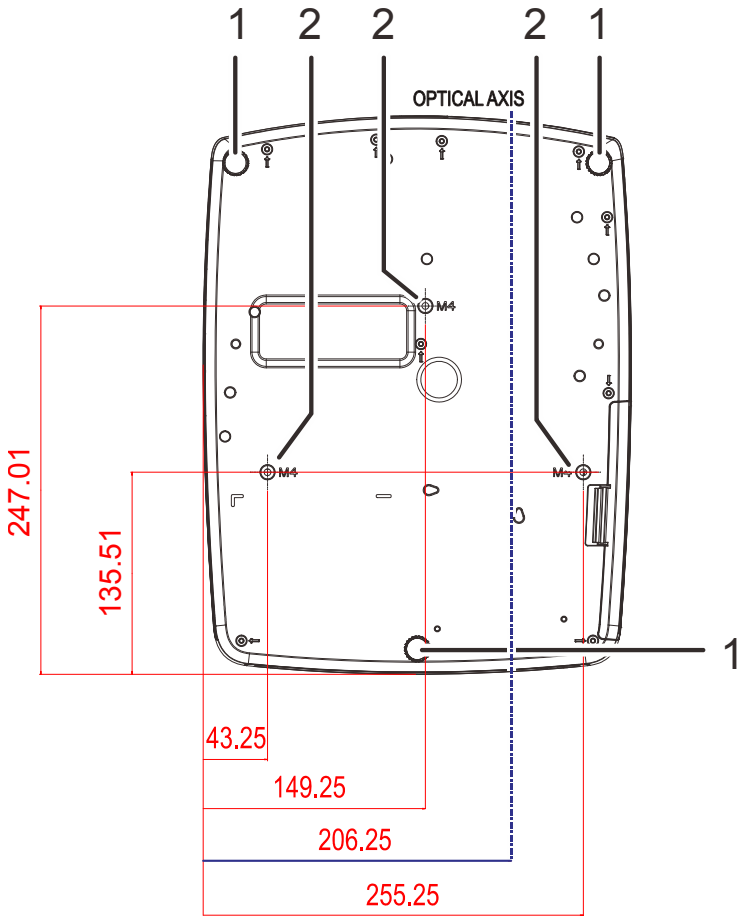
注記：
お使いのビデオ装置に複数の入力ソースがある場合は、より良い画質を得るために、HDMI/DVI、コンポーネント（スルー VGA）、コンポジットを優先して接続することを推奨します。

注記：
インタラクティブ機能を使用する前にドライバをインストールする必要があります。詳細は、ドライバディスクを参照してください。

注記:
(*) DH758USTIR シリーズで利用可能です。

⚠ ***警告:***
安全のために、接続する前に、プロジェクタと接続する機器の電源を切ります。

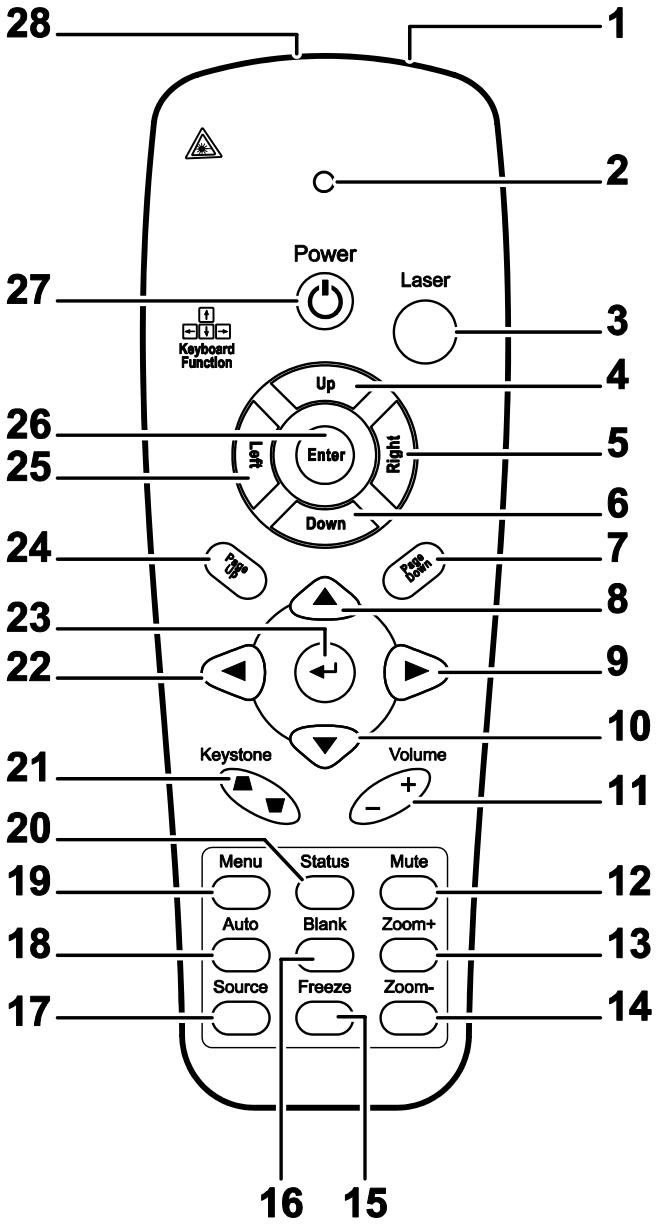
底面図



項目	名称	説明	参照ページ:
1.	傾き調整用アジャスタ	アジャスタレバーを回して角度位置を調整します	***14***
2.	天井取付用穴	プロジェクタを天井に取り付ける方法については、販売代理店までお問い合わせください。	

注記：
取り付けの際には、UL 規格の天井マウントだけを使用します。
天井に取り付ける場合は、認可された天井取り付け用ハードウェアと最大ねじ深さが 12 mm（0.47 インチ）の M4 ねじを使用します。
天井マウントの構造は形状と強度に適合しなければなりません。天井マウントの負荷能力は、取り付ける装置の質量を上回らなければなりません。また、装置の質量（5.15 Kg 以上）の 3 倍の質量に 60 秒以上耐えることができなければなりません。

リモコンの各部の名称



重要:

1.明るい蛍光灯を点灯した場所でプロジェクタを使用することはお止めください。高周波蛍光灯は、リモコンの動作を妨げることがあります。

2.リモコンとプロジェクタの間に障害物がないことを確認します。リモコンとプロジェクタの間に障害物があると、プロジェクタ画面などの反射面で信号がオフになることがあります。

3.プロジェクタ上のボタンとキーの機能は、リモコン上の対応するボタンの機能と同じです。本ユーザーズマニュアルでは、リモコンに基づいて機能について説明します。

注記：

2007 年 6 月 24 日付けのレーザー通知に準じた偏差を除き、レーザー製品の FDA パフォーマンス基準に適合します

項目	名称	説明	参照ページ:
1.	赤外線トランスミッター	信号をプロジェクタへ伝送します	
2.	状態 LED	リモコンの使用中に点灯します	
3.	レーザー	このボタンを押して、画面上のポインタを操作します	
4.	アップ	USB 経由で PC に接続している場合の上向き矢印です	
5.	右	USB 経由で PC に接続している場合の右向き矢印です	
6.	ダウン	USB 経由で PC に接続している場合の下向き矢印です	
7.	ページダウン	USB 経由で PC に接続している場合に、ページを下へ移動します	
8.	上向きカーソル	OSD 内でナビゲートします	16
9.	右向きカーソル	OSD 内の設定をナビゲートしたり変更します	
10.	下向きカーソル	OSD 内でナビゲートします	
11.	ボリューム +/-	音量を調整します	15
12.	消音	内蔵スピーカーを消音にします	
13.	ズーム+	ズームインします	
14.	ズーム-	ズームアウトします	
15.	一時停止	画面上の画像を静止します/静止を解除します	
16.	ブランク	画面を空白にします	
17.	ソース	入力機器を検出します	
18.	オート	位相、トラッキング、サイズ、位置を自動調整します	
19.	メニュー	OSD を開く、または、終了します	16
20.	状態	OSD 状態メニューを開きます（メニューが開くのは、入力機器が検出された場合だけです）	31
21.	キーストーン 上辺/下辺	画像の台形歪み（上辺/下辺が長い）を補正します	15
22.	左向きカーソル	OSD 内の設定をナビゲートしたり変更します	16
23.	エンター	OSD 内の設定を変更します	
24.	ページアップ	USB 経由で PC に接続している場合に、ページを上へ移動します	
25.	左	USB 経由で PC に接続している場合の左向き矢印です	
26.	エンター	USB 経由で PC に接続している場合の入力キーです	
27.	電源	プロジェクタの電源を入れます/切ります	11
28.	レーザー	画面上のポインタとして使用します。**目に当てないでください。**	

注意:
ここで指定される以外の制御、調整または手順の性能を使用すると、危険なレーザー光を浴びる可能性があります。

リモコンの動作範囲

リモコンは赤外線伝送を使ってプロジェクタを制御します。リモコンはプロジェクタに直接向ける必要はありません。リモコンをプロジェクタの側面または背面に対して垂直になるように向けていなければ、リモコンは、プロジェクタから約 7 メートル（23 フィート）の半径、プロジェクタの高さから上下 15 度で機能します。プロジェクタがリモコンに反応しない場合は、少し近づきます。

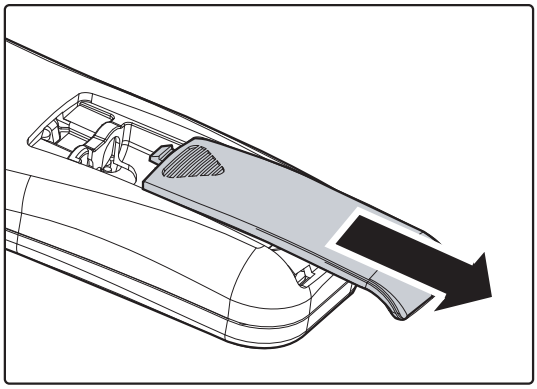
プロジェクタとリモコンのボタン

プロジェクタは、リモコンを使用する場合のみ操作可能です。 すべての操作は、リモコンでのみ実行可能です。

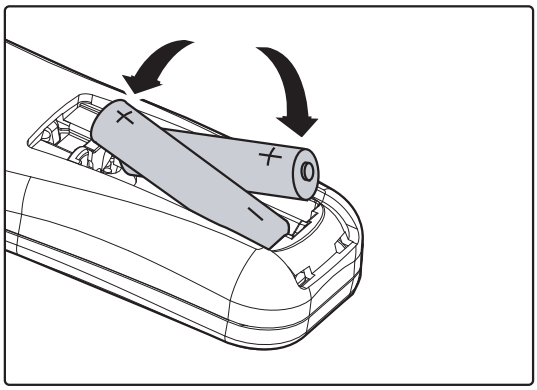
セットアップと操作

リモコンに電池を挿入する

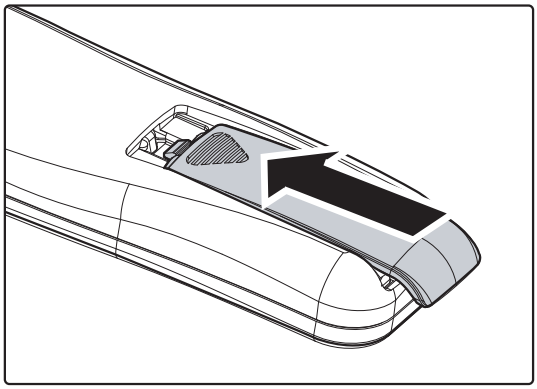
1. 電池収納部のカバーを、矢印の方向へ移動して取り外します。



2. 正極を上向きにして電池を挿入します。



3. カバーを元に戻します。



注意:

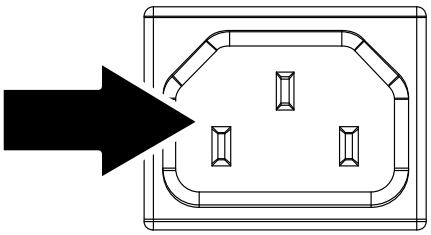
1.単 4 電池だけを使用します（アルカリ電池を推奨します）。

2.使用済み電池を廃棄する際には、 お住まいの地域の規制に従ってください。

3.プロジェクタを長期間使用しない場合は、電池を取り外します。

プロジェクタを起動する/シャットダウンする

1. 電源コードをプロジェクタに接続します。 他端をコンセントに接続します。



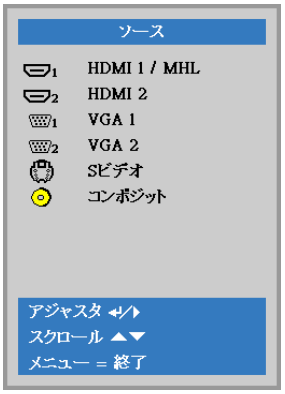
2. 接続した機器をオンにします。

3. **電源** LED が緑色に点灯することを確認します。 次に、リモコンの**電源**ボタンを押して、プロジェクタをオンにします。

プロジェクタスプラッシュ画面が表示され、接続した機器が検出されます。

ロックが有効な場合は、「12」ページの *アクセスパスワードを設定する（セキュリティー・ロック）*を参照してください。

4. 複数の入力機器を接続した場合は、リモコンの **SOURCE（ソース）**ボタンを押し、▲▼ を使用して、機器をスクロールします。
（コンポーネントには、RGB/コンポーネントアダプタで対応します。）



- HDMI1/MHL: 高品位マルチメディアインターフェース 1 /MHL
- HDMI2: 高品位マルチメディアインターフェース 2
- VGA 1/VGA 2:アナログ RGB コンポーネント:DVD 入力 YCbCr / YPbPr、または、HD15 コネクタ経由の HDTV 入力 YPbPr
- S ビデオ:スーパービデオ（Y/C 分離）
- コンポジットビデオ:従来のコンポジットビデオ

5. 「Power Off?/Press Power again（電源を切りますか?/電源をもう一度押してください）」メッセージが表示されたら、**POWER（電源）**ボタンを押します。プロジェクタがオフになります。

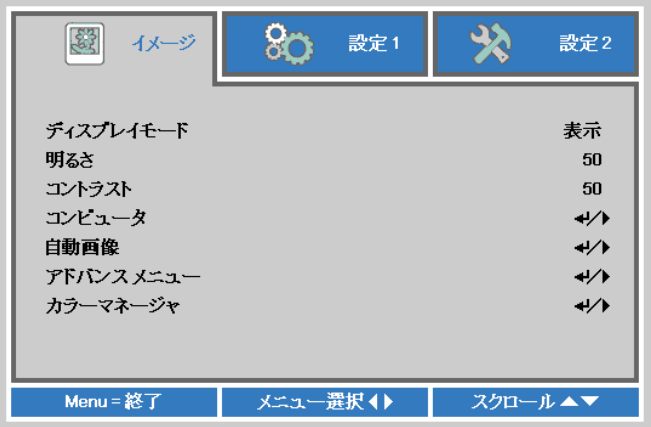
> ***注意:***
> *プロジェクタが冷却して、電源 LED が緑色を示さなくなるまで、電源コードのプラグを抜かないでください。*

アクセスパスワードを設定する（セキュリティー・ロック）

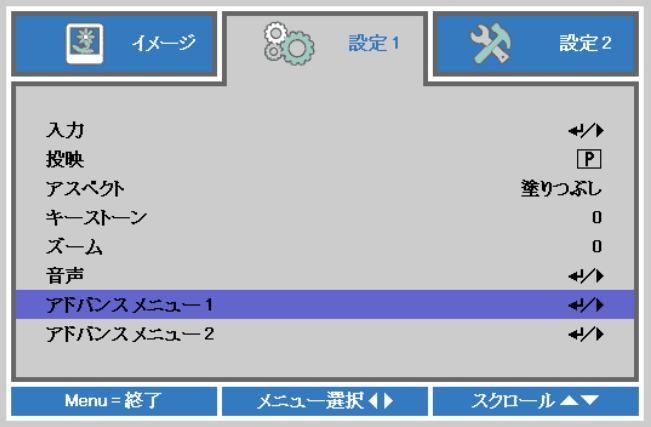
4 つの（矢印）ボタンを使ってパスワードを設定し、認証されていない人がプロジェクタを使用することを防止できます。有効にすると、プロジェクタの電源を入れた後で、パスワードを入力する必要があります。（OSD メニューの使い方については、*OSD をナビゲートする* ページの「16」、および、*OSD 言語を設定する* ページの「17」を参照してください。）

> ⚠ ***重要:***
> *パスワードは安全な場所に保管してください。パスワードがないと、プロジェクタを使用できません。パスワードを紛失した場合は、パスワードをクリアする方法について、小売店までお問い合わせください。*

1. **MENU（メニュー）**ボタンを押して OSD メニューを開きます。



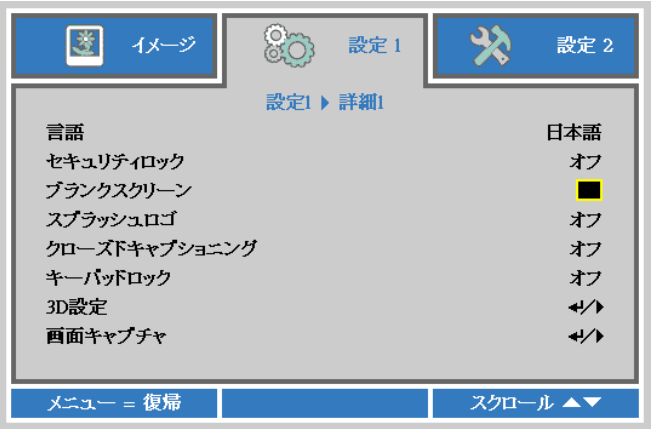
2. カーソル ◄► ボタンをおして、**設定 1** メニューに移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して、**詳細 1** を選択します。



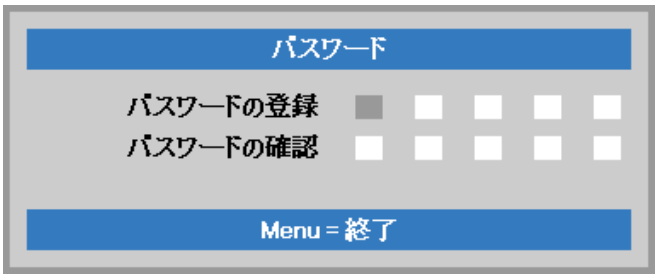
3. ↵（エンター） /► を押して、**詳細 1** サブメニューを開きます。 カーソル ▲▼ ボタンを押して、**セキュリティー・ロック**を選択します。

4. カーソル ◄► ボタンを押して、セキュリティー・ロック機能をオン/オフします。

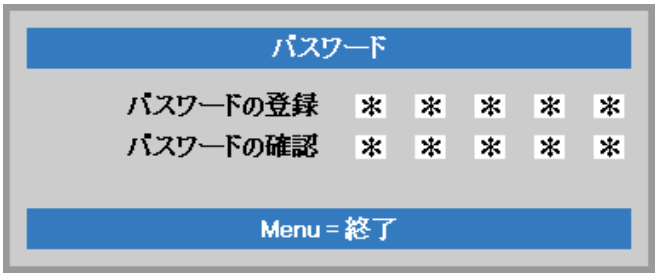
パスワードのダイアログボックスが自動的に表示されます。



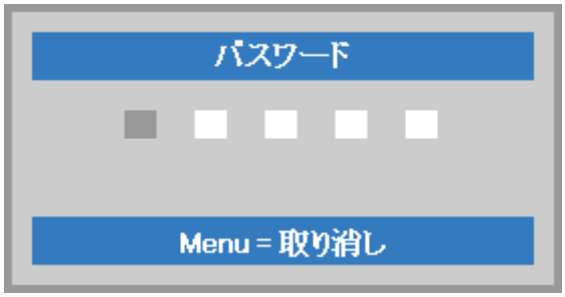
5. キーパッドまたは赤外線リモコンのカーソルボタン ▲▼◄► を使って、パスワードを入力します。5 文字のパスワードを入力します。どんな組み合わせでも使うことができます（例えば、同じ矢印を 5 回使うなど）。



カーソルボタンを押してパスワードを設定します。**MENU（メニュー）**ボタン を押して ダイアログボックスを終了します。



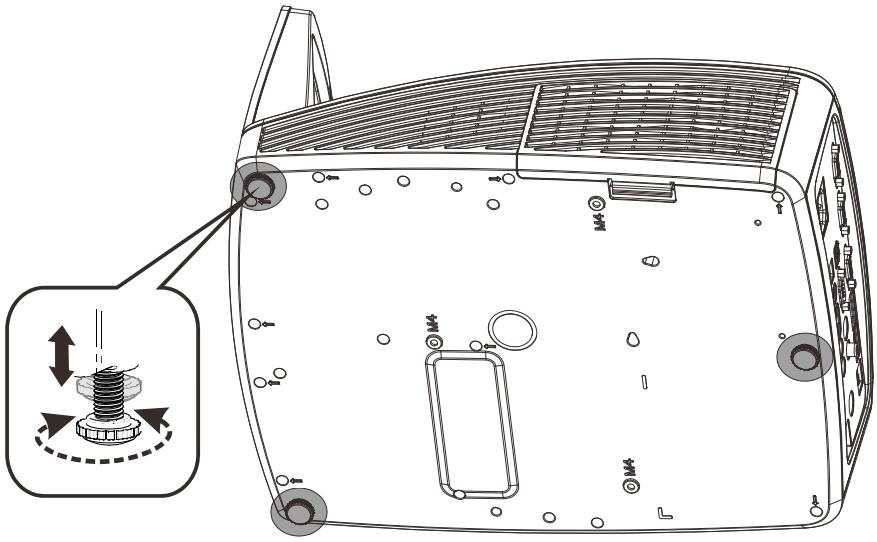
6. **セキュリティー・ロック**が有効な場合は、ユーザーが電源オンキーを押すと、パスワードの確認メニューが表示されます。
ステップ 5 で設定したパスワードを入力します。パスワードを忘れた場合は、サービスセンターまでご連絡ください。
サービスセンターでは、所有者を検証して、パスワードをリセットするお手伝いをいたします。



プロジェクタの高さを調整する

プロジェクタをセットアップする際には、次の点にご注意ください:

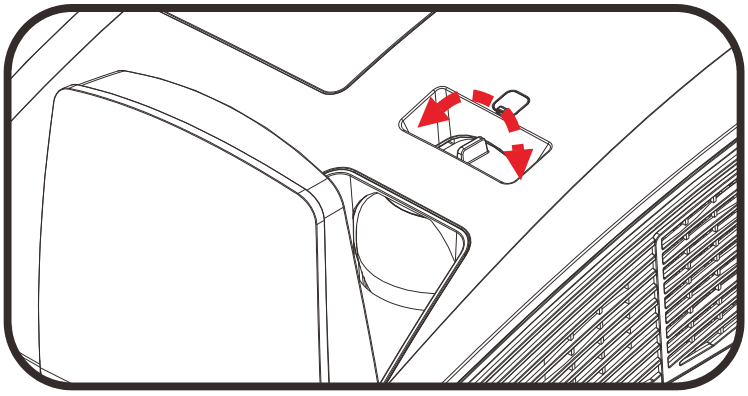
- *プロジェクタを置くテーブルまたはスタンドが水平で安定していることを確認します。*
- *プロジェクタは、スクリーンに対して垂直になるように置きます。*
- *ケーブルが安全な場所に配線されていることを確認します。ケーブルにつまづいたりしないように配線します*



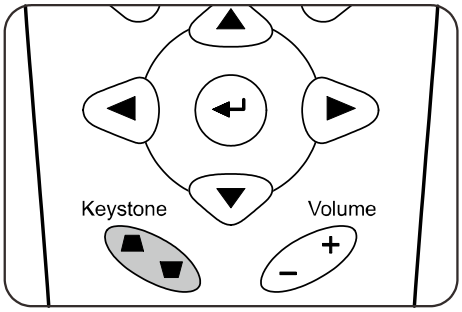
画像の角度を調整するには、傾き調整用アジャスタを左または右に回して、希望する角度にします。

フォーカスとキーストーンを調整する

1. **イメージフォーカス**コントローラー（プロジェクター本体のみ搭載）を使って、投映イメージを鮮明にします



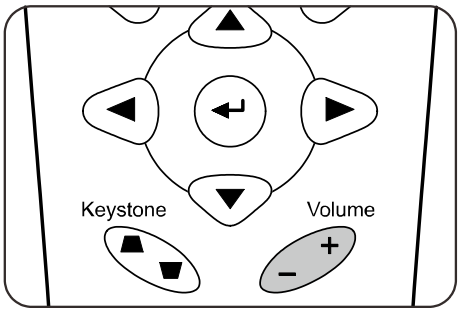
2. **KEYSTONE（キーストーン）**ボタン（プロジェクタまたはリモコン上）を使って、イメージの台形歪み（上辺または下辺が長い）効果を補正します。



3. キーストーンコントロール
がディスプレイに表示されます。

音量を調整する

1. リモコンの **Volume +/-（ボリューム +/-）**ボタンを押します。
音量コントロールがディスプレイに表示されます。



2. **MUTE（消音）**ボタンを押して、音量をオフにします。(この機能はリモコンでのみ利用可能です)。

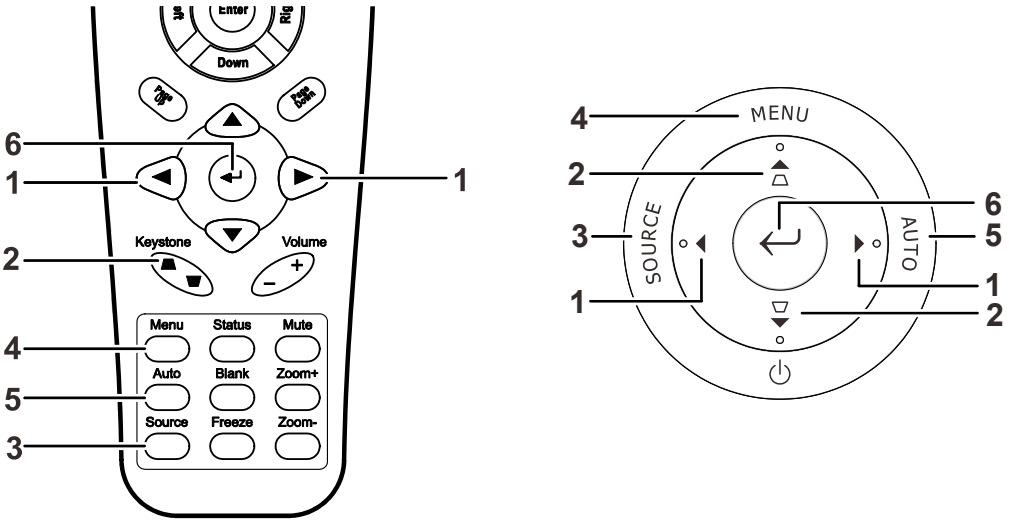
オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー設定

OSD メニューコントロール

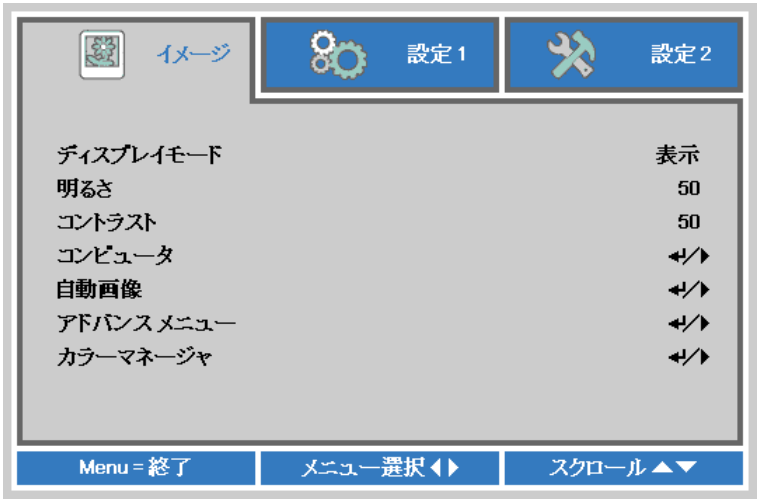
プロジェクタの OSD を使って、画像を調整したり、さまざまな設定を変更できます。

OSD をナビゲートする

リモートコントロールのカーソルボタンを使って、OSD をナビゲートしたり変更することができます。



1. OSD を開くには、**MENU（メニュー）**ボタンを押します。
2. 3 つのメニューがあります。カーソル ◄► ボタンを押してメニュー内を移動します。
3. カーソル ▲▼ ボタンを押してメニュー内を上下に移動します。
4. ◄► を押して設定用の値を変更します。
5. **MENU（メニュー）**を押して、OSD を閉じたり、サブメニューを終了します。

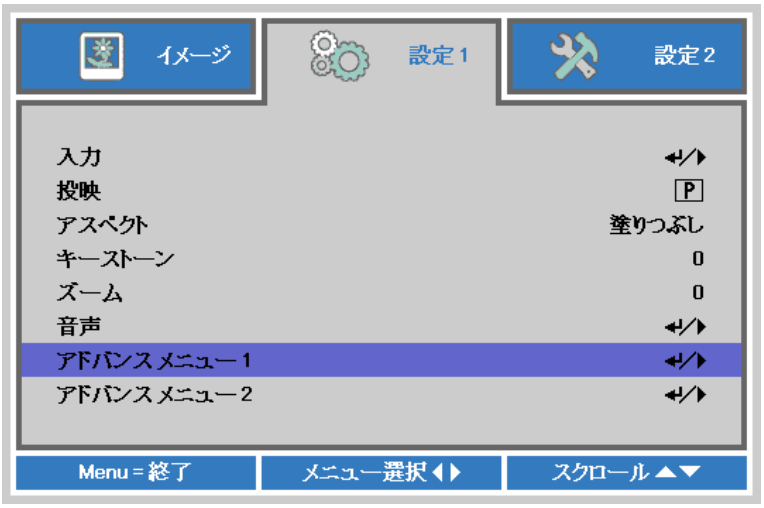


注記：
*ビデオソースによっては、OSD 内のすべての項目を使用できないことがあります。例えば、items in the **コンピュータ**メニューの**水平位置/垂直位置**項目を変更できるのは、PC に接続されている場合だけです。使用できない項目は灰色で表示され、アクセスできません。*

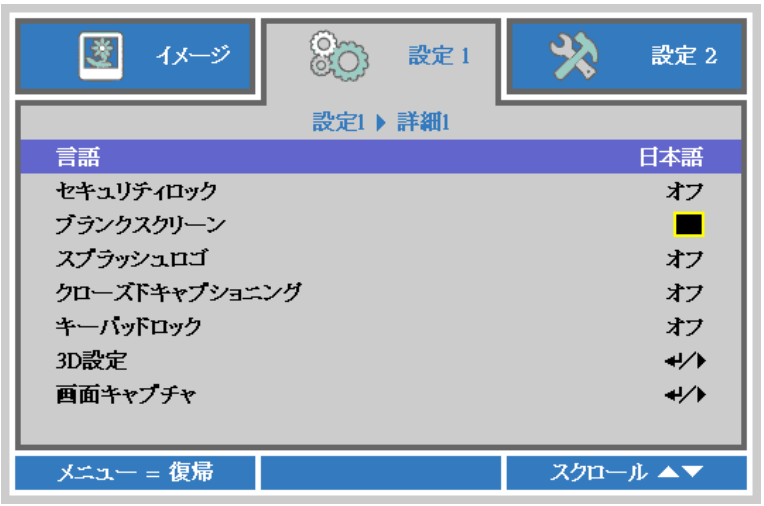
OSD 言語を設定する

次に進む前に、OSD で使用する言語を設定します。

1. **MENU（メニュー）**ボタンを押します。カーソル ◄► を押して**設定 1** へ移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して、**詳細 1** メニューに移動します。



2. ↵（エンター）/► を押して、**詳細 1** サブメニューを開きます。**言語**が強調表示されるまで、カーソル ▲▼ ボタンを押します。



3. 希望する言語が強調表示されるまで、カーソルボタンを押します。
4. **MENU メニュー）**ボタンを 4 回押して OSD を閉じます。

OSD メニューの概要

次の図を参照して、設定を見つけたり、設定用の範囲を確認します。

メインメニュー	サブメニュー			設定
イメージ	ディスプレイモード			表示、明るい、ゲーム、映画、テレビ、sRGB、ブラックボード、ユーザ
	明るさ			0~100
	コントラスト			0~100
	コンピュータ	水平位置		-5~5 (オートロックに依存)
		垂直位置		-5~5 (オートロックに依存)
		周波数		0~31
		トラッキング		-5~5
	自動画像			
	アドバンス	ブリリアントカラー		0~10
		シャープネス		0~31
		ガンマ		1.8、2.0、2.2、2.4、黒白、線形
		色温度		暖、ノーマル、冷
		ビデオ AGC		オフ、オン
		ビデオ彩度		0~100
		ビデオ色相		0~100
	カラーマネージャ	赤	色調、彩度、ゲイン	0~100
		緑	色調、彩度、ゲイン	0~100
		青	色調、彩度、ゲイン	0~100
		青緑色	色調、彩度、ゲイン	0~100
		マゼンタ	色調、彩度、ゲイン	0~100
		黄色	色調、彩度、ゲイン	0~100
		白	赤、緑、青	0~100

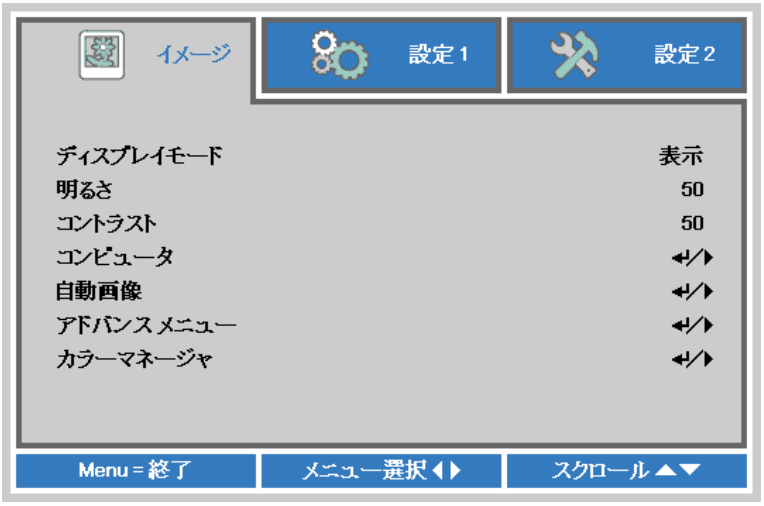
メインメニュー	サブメニュー			設定
設定 1	Source（ソース）	Source（ソース）		参照入力ソース選択（IR/キーパッド）
	投映			ノーマル、背面、天井、背面+天井
	アスペクト			塗りつぶし、4:3、16:9、レター ボックス、ネガフィルム、2.35:1
	キーストーン			-40~40
	デジタルズーム			-10~10
	音声	ボリューム		0~10
		消音		オフ、オン
	詳細 1	言語		English, Français, Deutsch, Español, Português, 簡体中文, 繁體中文, Italiano, Norsk, Svenska, Nederlands, Русский, Polski, Suomi, Ελληνικά, 한국어, Magyar, Čeština, العربية, Türkçe, Việt, 日本語, ไทย, תירבע ,فارسی
		セキュリティー・ロック		オフ、オン
		ブランク		ブランク、赤、緑、青、白
		スプラッシュロゴ		標準、オフ、ユーザ
		クローズドキャプショニング		オフ、オン
		キーパッドロック		オフ、オン
		3D 設定	3D	オフ, DLP-Link, IR
			3D 同期反転	オフ、オン
			3D フォーマット	フレームパッキング、トップ/ボトム、サイドバイサイド、フレームシーケンシャル (3D フレームパッキング HDMI ソースのみ)
		画面キャプチャ		
	詳細 2	テストパターン		なし、グリッド、白、赤、緑、青、黒
		水平画像シフト		-50~50
		垂直画像シフト		-50~50

メインメニュー	サブメニュー			設定
設定 2	オートソース			オフ、オン
	信号なし電源オフ			0~180
	自動電源オン			オフ、オン
	ランプモード			エコ、ノーマル、ダイナミックエコ
	すべてリセット			
	状態	有効なソース		
		ビデオ情報		
		ランプ時間（エコ、ノーマル、ダイナミックエコ）		
	詳細 1	メニュー位置		中央、ダウン、アップ、左、右
		透過メニュー		0%, 25%, 50%, 75%, 100%
		節電モード		オフ、オン、LAN でオン
		ファン速度		ノーマル、高速
		ランプ使用時間リセット		
		プロジェクタ ID		00-98
		ネットワーク	ネットワーク状態	接続、切断
			DHCP	オフ、オン
			IP アドレス	0~255, 0~255, 0~255. 0~255
			サブネットマスク	0~255, 0~255, 0~255. 0~255
			ゲートウェイ	0~255, 0~255, 0~255. 0~255
			DNS	0~255, 0~255, 0~255. 0~255
			適用	Ok / キャンセル
	詳細 2	スリープタイマー		0~600
		ソースフィルター	HDMI1/MHL	無効、有効
			HDMI2	無効、有効
			VGA1	無効、有効
			VGA2	無効、有効
			S-Video	無効、有効
			コンポジットビデオ	無効、有効

イメージメニュー

> ⚠ ***注意！***
> *変更されたときのディスプレイモードのパラメーターはすべて、ユーザーモードに保存されます。*

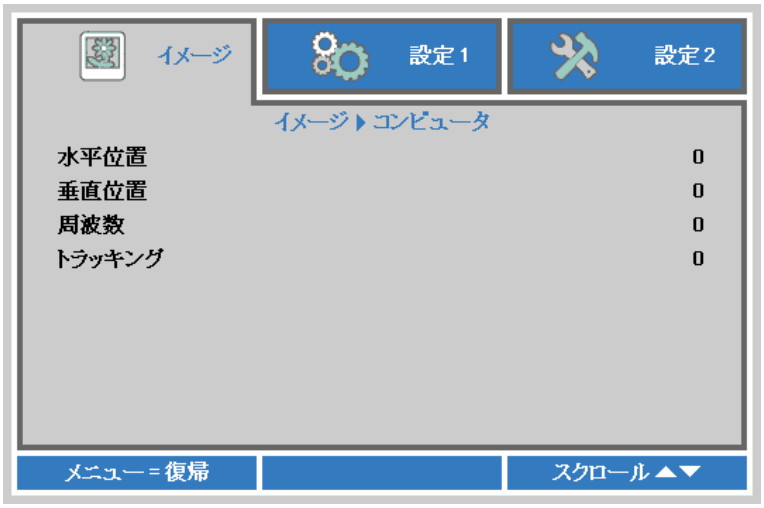
MENU（メニュー）ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル ◄► ボタンを押して**イメージ メニュー**へ移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して、**イメージ**メニュー内を上下に移動します。◄► を押して設定用の値を変更します。



項目	説明
ディスプレイモード	カーソル ◄► ボタンを押してディスプレイモードを設定します。
明るさ	カーソル ◄► ボタンを押してディスプレイの明るさを調整します。
コントラスト	カーソル ◄► ボタンを押してディスプレイのコントラストを調整します。.
コンピュータ	↵（エンター）/ ► を押して、コンピュータメニューを開きます。 *コンピュータメニュー*ページの「22」を参照してください。
自動画像	↵（エンター）/ ► を押して、位相、トラッキング、サイズ、位置を自動調整します。
アドバンスメニュー	↵（エンター）/ ► を押して、詳細メニューを開きます。 *アドバンス機能*ページの「23」を参照してください。
カラーマネージャ	↵（エンター）/ ► を押して、カラーマネージャメニューを開きます。「24」に関する詳細情報については、 *カラーマネージャ*ページを参照してください。

コンピュータメニュー

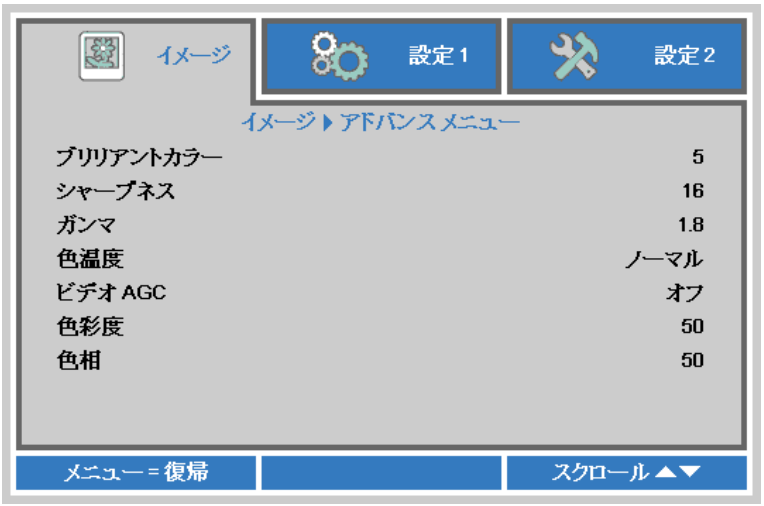
MENU（メニュー） ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◄► を押して**イメージ**メニューへ移動します。▲▼ を押して、**コンピュータ**メニューへ移動し、次に、**Enter**（エンター）または ► を押します。 ▲▼ を押して、**コンピュータ**メニュー内を上下に移動します。



項目	説明
水平位置	カーソル ◄► ボタンを押して、ディスプレイ位置を左または右へ調整します。
垂直位置	カーソル ◄► ボタンを押して、ディスプレイ位置を上または下へ調整します。
周波数	カーソル ◄► ボタンを押して、A/D サンプリングクロックを調整します。
トラッキング	カーソル ◄► ボタンを押して、A/D サンプリングドットを調整します。

アドバンス機能

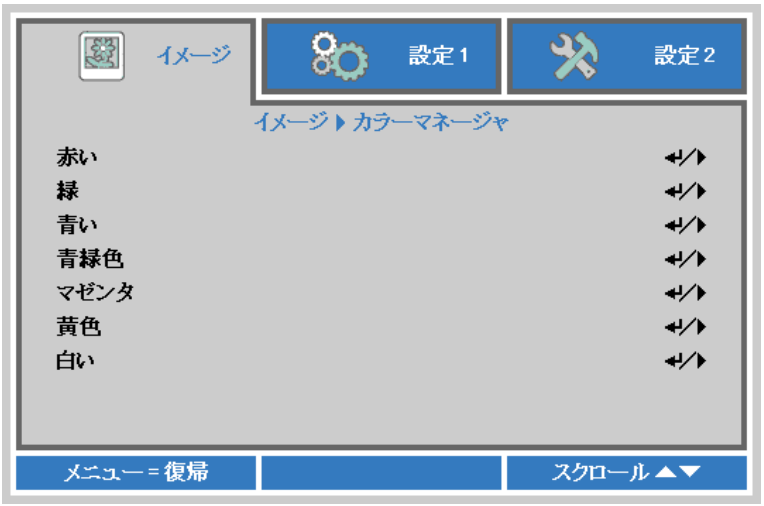
Menu（メニュー）ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◄► を押して**イメージ**メニューへ移動します。▲▼ を押して、**アドバンス**メニューへ移動し、次に、**Enter（エンター）**または ► を押します。▼▲ を押して、**アドバンス**メニュー内を上下に移動します。



項目	説明
ブリリアントカラー	カーソル ◄► ボタンを押して、ブリリアントカラーの値を調整します。
シャープネス	カーソル ◄► ボタンを押してディスプレイの鮮明度を調整します。
ガンマ	カーソル ◄► ボタンを押して、ディスプレイのガンマ補正を調整します。
色温度	カーソル ◄► ボタンを押して、色温度を調整します。
ビデオ AGC	◄► ボタンを押して、ビデオソース用の自動ゲインコントロールを有効にしたり無効にします。
色彩度	◄► ボタンを押して、ビデオ彩度を調整します。
色相	◄► ボタンを押して、ビデオ色相/色調を調整します。

カラーマネージャ

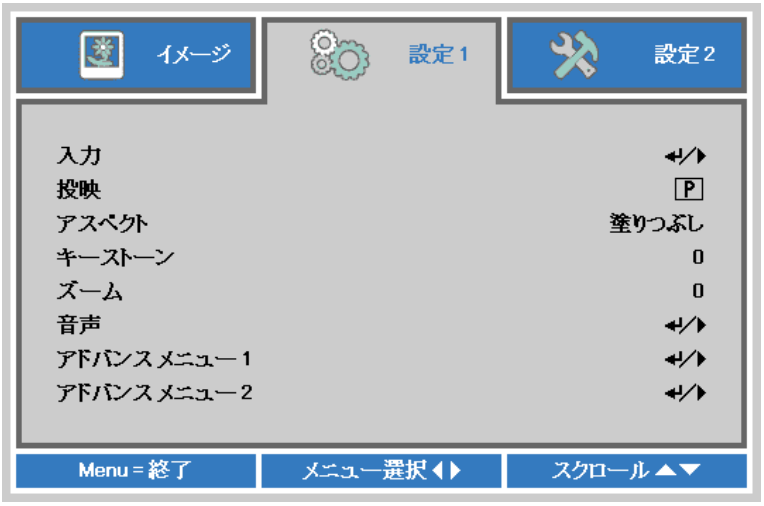
Menu（メニュー）ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◄► を押して**イメージ**メニューへ移動します。▲▼ を押して、**カラーマネージャ**メニューへ移動し、次に、**Enter**（エンター）または ► を押します。▼▲ を押して、**カラーマネージャ**メニュー内を上下に移動します。



項目	説明
赤い	これを選択して、赤のカラーマネージャを開きます。 ◄► ボタンを押して、色調、彩度、ゲインを調整します。
緑	これを選択して、緑のカラーマネージャを開きます。 ◄► ボタンを押して、色調、彩度、ゲインを調整します。
青い	これを選択して、青のカラーマネージャを開きます。 ◄► ボタンを押して、色調、彩度、ゲインを調整します。
青緑色	これを選択して、青緑色のカラーマネージャを開きます。 ◄► ボタンを押して、色調、彩度、ゲインを調整します。
マゼンタ	これを選択して、マゼンタのカラーマネージャを開きます。 ◄► ボタンを押して、色調、彩度、ゲインを調整します。
黄色	これを選択して、黄色のカラーマネージャを開きます。 ◄► ボタンを押して、色調、彩度、ゲインを調整します。
白い	これを選択して、白のカラーマネージャを開きます。 ◄► ボタンを押して、赤、緑、青を調整します。

設定 1 メニュー

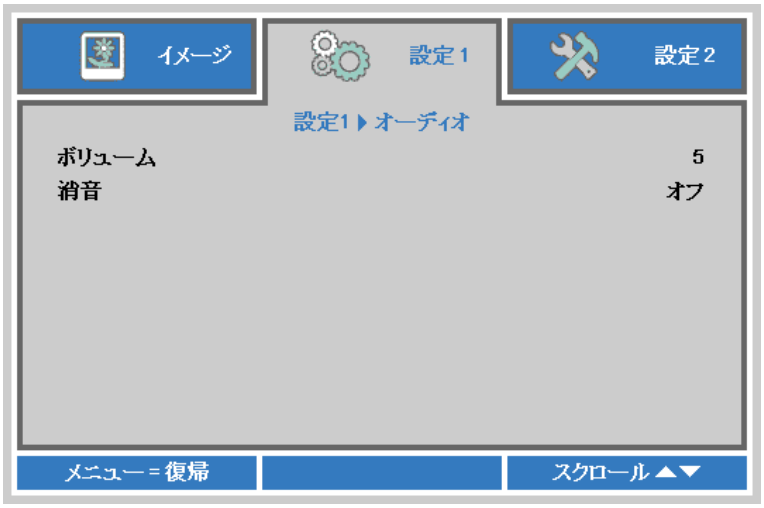
MENU（メニュー）ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル ◄► ボタンを押して**設定 1** メニューへ移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して**設定 1** メニュー内を上下に移動します。◄► を押して設定用の値を 変更します。



項目	説明
入力	カーソル ↵（Enter）/ ► を押して、ソースメニューに入ります。 参照入力ソース選択（IR/キーパッド）。
投映	カーソル ◄► ボタンを押して、4 つの投映方法から選択します。
アスペクト	カーソル ◄► ボタンを押して、ビデオの縦横比を調整します。
キーストーン	カーソル ◄► ボタンを押して、画像の台形歪みを調整します。
ズーム	カーソル ◄► ボタンを押して、デジタルズームメニューを調整します。
音声	↵（エンター）/ ► を押して、オーディオメニューを開きます。 *音声*ページの「26」を参照してください。
アドバンスメニュー 1	↵（エンター）/ ► を押して、詳細 1 メニューを開きます。 *詳細 1 機能*ページの「27」を参照してください。
アドバンスメニュー 2	↵（エンター）/ ► を押して、詳細 2 メニューを開きます。 *詳細 2 機能*ページの「29」を参照してください。

音声

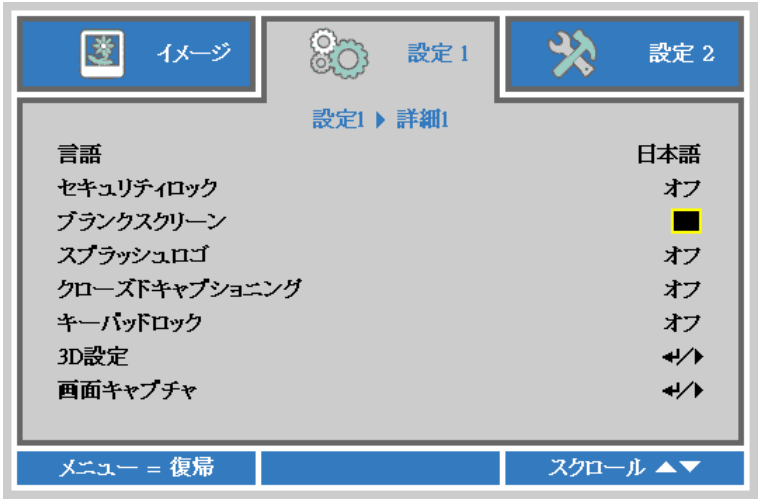
Menu（メニュー）ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◄► を押して**設定 1** メニューへ移動します。▲▼ を押して、**音声**メニューへ移動し、次に、**Enter**（エンター）または ► を押します。▼▲ を押して、**音声**メニュー内を上下に移動します。



項目	説明
ボリューム	◄► ボタンを押して、 オーディオボリュームを調整します。
消音	◄► ボタンを押して、スピーカーをオンにしたりオフにします。

詳細 1 機能

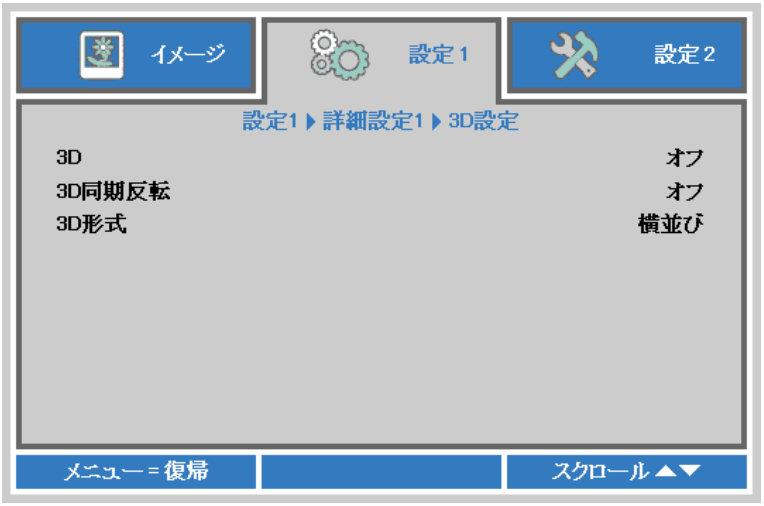
Menu（メニュー）ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◄► を押して**設定 1** メニューへ移動します。▲▼ を押して、**詳細 1** メニューへ移動し、次に、**Enter**（エンター）または ► を押します。▲▼ を押して、**詳細 1** メニュー内を上下に移動します。 ◄► を押して設定用の値を変更します。



項目	説明
言語	カーソル ◄► ボタンを押して、さまざまな言語メニューから選択します。
セキュリティー・ロック	カーソル ◄► ボタンを押して、セキュリティーロック機能を有効にしたり無効にします。
ブランクスクリーン	カーソル ◄► ボタンを押して、画面を空白にする際に使う色を選択します。
スプラッシュロゴ	カーソル ◄► ボタンを押して、スプラッシュロゴを選択します。
クローズドキャプショニング	カーソル ◄► ボタンを押して、クローズドキャプショニングをオン/オフします。
キーパッドロック	カーソル ◄► ボタンを押して、キーパッドのキーの機能の有効または無効を切り替えます。
3D 設定	↵（エンター）/ ► を押して、3D メニューを開きます。「28」に関する詳細情報については、*3D 設定* ページを参照してください。
画面キャプチャ	↵（Enter） / ► を押して、画面キャプチャを行います。画像が保存されるまでお待ちください。 画像は、次回電源オン後に自動的に表示されます。

注記：
3D 機能を使用するには、まず、 3D ディスクメニューの DVD 機器にある 3D 設定で、映画の再生を有効にします。

3D 設定



項目	説明
3D	カーソル ◄► ボタンを押して、異なる 3D モードを選択します。
3D 同期反転	カーソル ◄► ボタンを押して、3D 同期反転を有効または無効にします。
3D 形式	カーソル ◄► ボタンを押して、異なる 3D フォーマットを有効または無効にします。

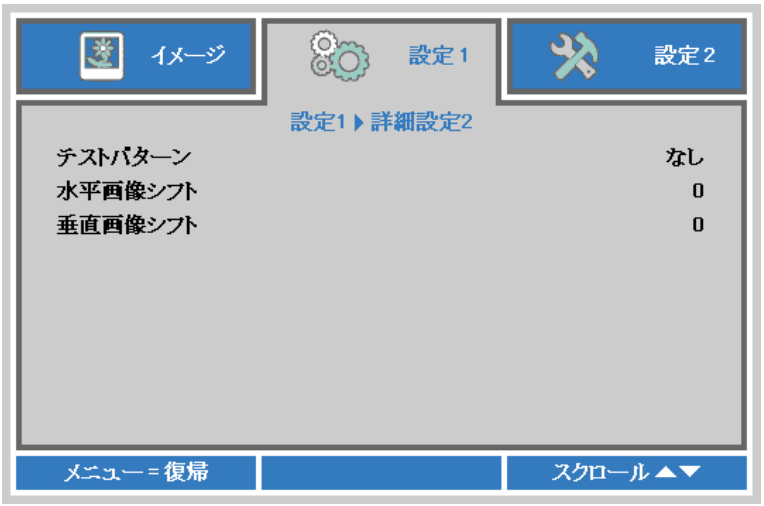
注記:

1. *適切な 3D ソースがない場合、3D OSD メニュー項目はグレーになります。これは、デフォルト設定です。*
2. *プロジェクタが適切な 3D ソースに接続されているとき、3D OSD メニュー項目は選択可能です。*
3. *3D 画像を使用して 3D 画像を表示します。*
4. *3D DVD or 3D メディアファイルからの 3D コンテンツが必要です。*
5. *3D ソースを有効にする必要があります（3D DVD コンテンツには、3D オンオフを選択できるものもあります）。*
6. *DLP リンク 3D または IR 3D シャッターガラスが必要です。IR 3D シャッターガラスを使うには、PC にドライバをインストールして USB エミッターを接続する必要があります。*
7. *OSD の 3D モードは、ガラスのタイプに合わせる必要があります (DLP リンクまたは IR 3D)。*
8. *ガラスの電源をオンにします。ガラスには、通常オンオフスイッチが付いています。それぞれのタイプのガラスには、専用の設定指示があります。セットアッププロセスを終了するには、メガネに付属する設定指示に従ってください。*

注記:
ガラス（DLP リンクまたは IR シャッターガラス）にはさまざまなタイプがありそのそれぞれに専用の設定指示があるため、ガイドに従って設定プロセスを終了して下さい。

詳細 2 機能

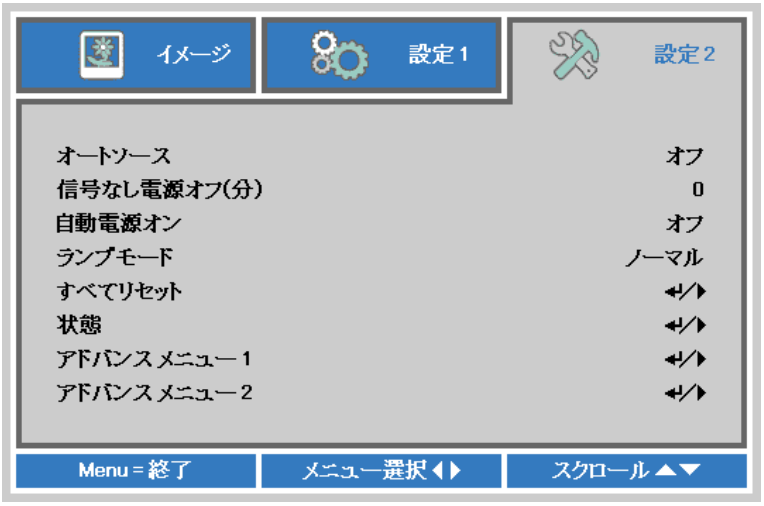
Menu（メニュー）ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◄► を押して**設定 1** メニューへ移動します。▲▼ を押して、**詳細 2** メニューへ移動し、次に、**Enter**（エンター）または ► を押します。▲▼ を押して、**詳細 2** メニュー内を上下に移動します。 ◄► を押して設定用の値を変更します。



項目	説明
テストパターン	カーソル ◄► ボタンを押して、内部テストパターンを選択します。
水平画像シフト	カーソル ◄► ボタンを押して、H 画像シフトを選択します。
垂直画像シフト	カーソル ◄► ボタンを押して、V 画像シフトを選択します。.

設定 2 メニュー

MENU（メニュー）ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル ◄► ボタンを押して**設定 2** メニューへ移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して**設定 2** メニュー内を上下に移動します。

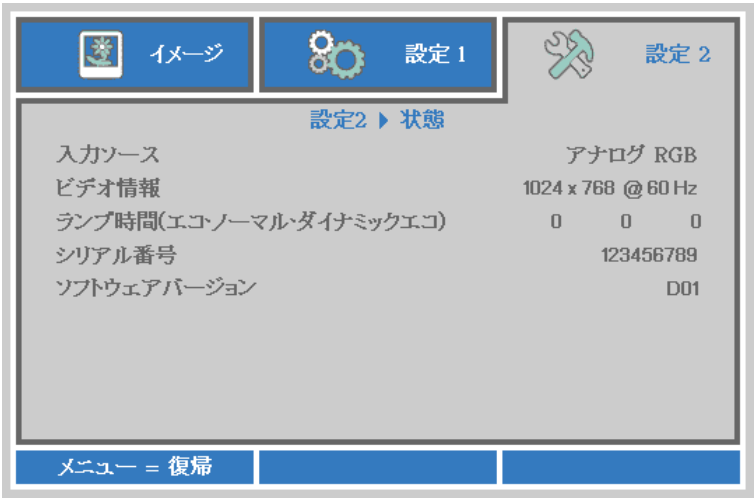


項目	説明
オートソース	カーソル ◄► ボタンを押して、自動ソース検出を有効にしたり無効にします。
信号なし電源オフ（分）	カーソル◄► ボタンを押して、信号がない場合のランプの自動シャットダウンを有効にしたり無効にします。
自動電源オン	カーソル ◄► ボタンを押して、AC 電源が供給されている場合の自動電源オン機能を有効にしたり無効にします。
ランプモード	カーソル◄►ボタンを押して、高輝度を選択したり、または輝度を選択してランプの消耗を低減します。
すべてリセット	↵（エンター）/ ► を押して、すべての設定をデフォルト値に戻します。
状態	↵（エンター）/ ► を押して状態メニューを開きます。 「31」に関する詳細情報については、*状態* ページを参照してください。
アドバンスメニュー 1	↵（エンター）/ ► を押して、詳細 1 メニューを開きます。 *詳細 1 機能*ページの「32」を参照してください。
アドバンスメニュー 2	↵（エンター）/ ► を押して、詳細 2 メニューを開きます。 *詳細 2 機能*ページの「43」を参照してください。

注記:
「ダイナミックエコ」：ブランクボタンを押すと、ランプは自動的に 30% 暗くなります。

状態

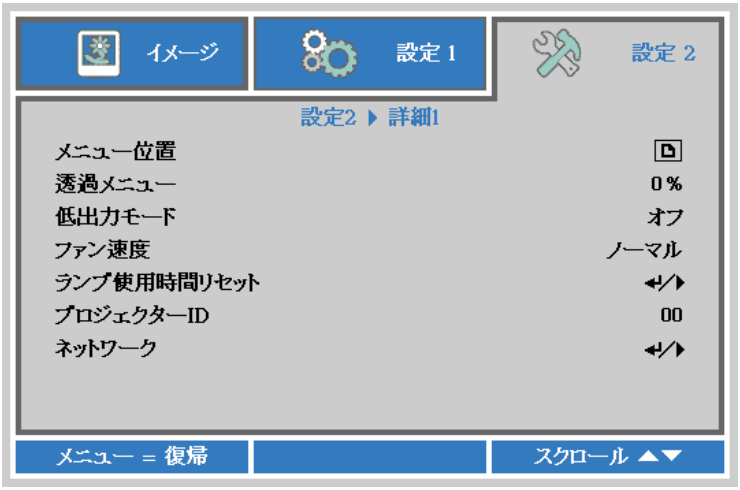
カーソル ▲▼ ボタンを押して**設定 2** メニュー内を上下に移動します。**状態**メニューを選択して、**Enter**（エンター）または ► を押して入ります。



項目	説明
入力ソース	有効にしたソースを表示します。
ビデオ情報	RGB ソースの解像度/ビデオ情報、および、ビデオソースの色標準を表示します。
ランプ使用時間	ランプ使用時間についての情報を表示します。(エコ、ノーマル、ダイナミックエコ)
シリアル番号	製品のシリアル番号を表示します。
ソフトウェアバージョン	システムのソフトウェアバージョンを表示します。

詳細 1 機能

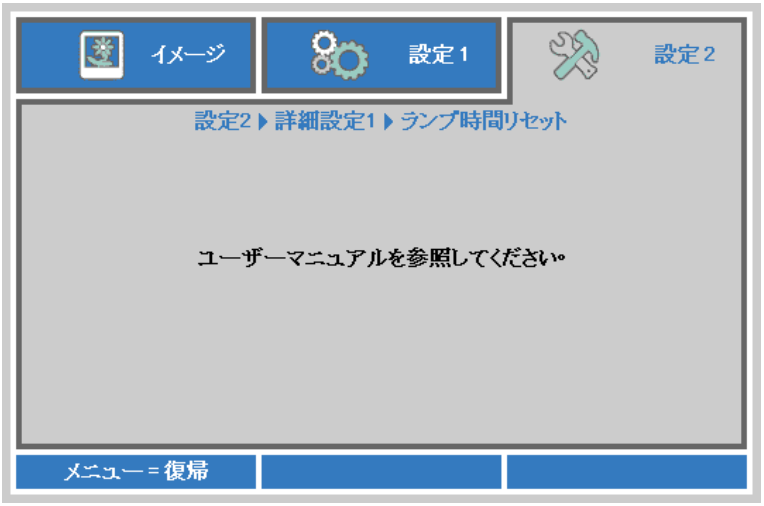
Menu（メニュー）ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◄► を押して**設定 2** メニューへ移動します。▲▼ を押して、**詳細 1** メニューへ移動し、次に、**Enter**（エンター）または ► を押します。▲▼ を押して、**詳細 1** メニュー内を上下に移動します。◄► を押して設定用の値を変更します。



項目	説明
メニュー位置	◄► ボタンを押して、異なる OSD 位置を選択します。
透過メニュー	◄► ボタンを押して、OSD の背景の透明度を選択します。
低出力モード	◄► ボタンを押して、節電モードに入り，オン，オフまたは LAN でオンに切り替えます。
ファン速度	カーソル ◄► ボタンを押して、標準ファン速度と高速ファン速度を切り替えます。 **注**： 温度の高い場所、湿度の高い場所、または、高地（1500m 以上） では、高速を選択することを推奨します。
ランプ使用時間リセット	ランプを交換した後で、この項目をリセットします。「33」に関する詳細情報については、*ランプ使用時間リセット* ページを参照してください。
プロジェクター ID	カーソル ◄► ボタンを押して、2 桁のプロジェクタ ID を00 から 98 の間で調整します。
ネットワーク	↵（エンター）/ ► を押して、ネットワークメニューを開きます。「33」に関する詳細情報については、*ネットワーク* ページを参照してください。

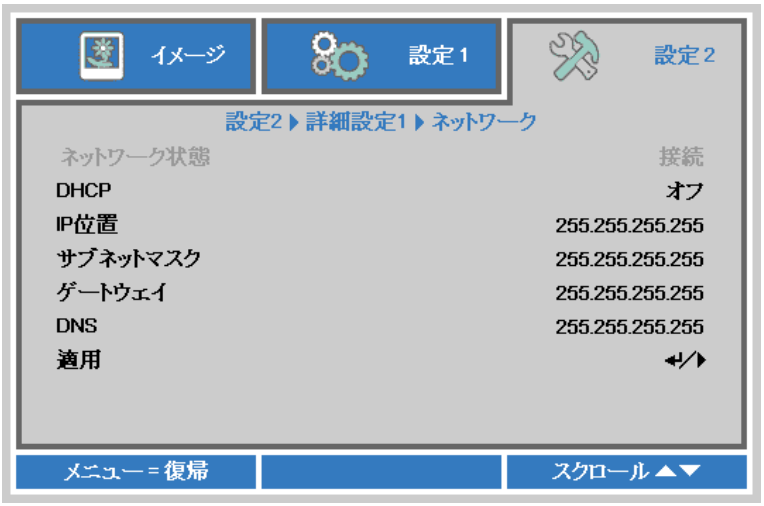
注記:
*「**LAN でオン**」について、RJ45 は、このモードでウェイクアップされるようサポートされますが（6W 未満）、スカラーはサポートされません。*

ランプ使用時間リセット

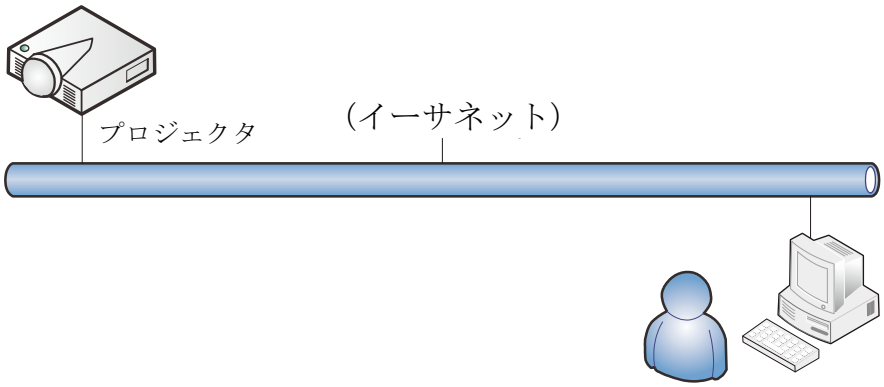


ランプ使用時間カウンタのリセット方法については、*ランプをリセットする* ページの「47」を参照してください。

ネットワーク



項目	説明
ネットワーク状態	ネットワークの接続状態を表示します。
DHCP	◄► を押して、DHCP をオンまたはオフにします。 **注**：DHCP オフを選択する場合は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および、DNS のフィールドに入力します。
IP 位置	DHCP をオフにする場合は、有効な IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	DHCP がオフの場合は、有効なサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	DHCP がオフの場合は、有効なゲートウェイアドレスを入力します。
DNS	DHCP がオフの場合は、有効な DNS 名を入力します。
適用	↵（エンター）/ ► を押して設定を確定します。



有線 LAN のターミナル機能

有線 LAN を介する PC（またはラップトップ）からのプロジェクタのリモート制御またはリモート監視も可能です。Crestron/AMX（デバイス検出）/Extron 制御ボックスとの互換性により、ネットワーク上で集団的なプロジェクタ管理が可能になるだけではなく、PC（またはラップトップ）のブラウザ画面上の制御パネルからの管理が可能になります。

* Crestron は、米国 Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。

* Extron は、米国 Extron Electronics, Inc. の登録商標です。

* AMX は、米国 AMX LLC の登録商標です。

サポートする外部デバイス

このプロジェクタは、Crestron Electronics 製コントローラおよび関連ソフトウェア（例 RoomView ®）の特定のコマンドをサポートします。

http://www.crestron.com/

このプロジェクタは、AMX（デバイス検出）をサポートします。

http://www.amx.com/

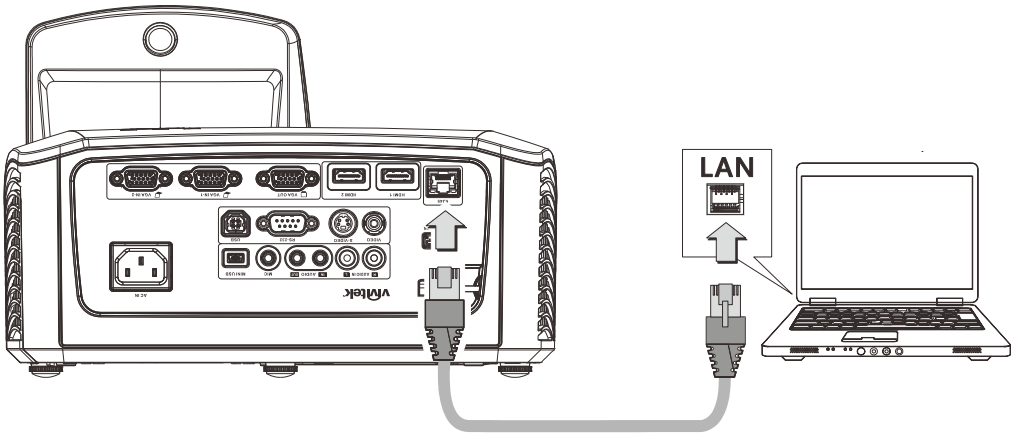
このプロジェクタは、参考のために Extron デバイスをサポートするために準拠しています。

http://www.extron.com/

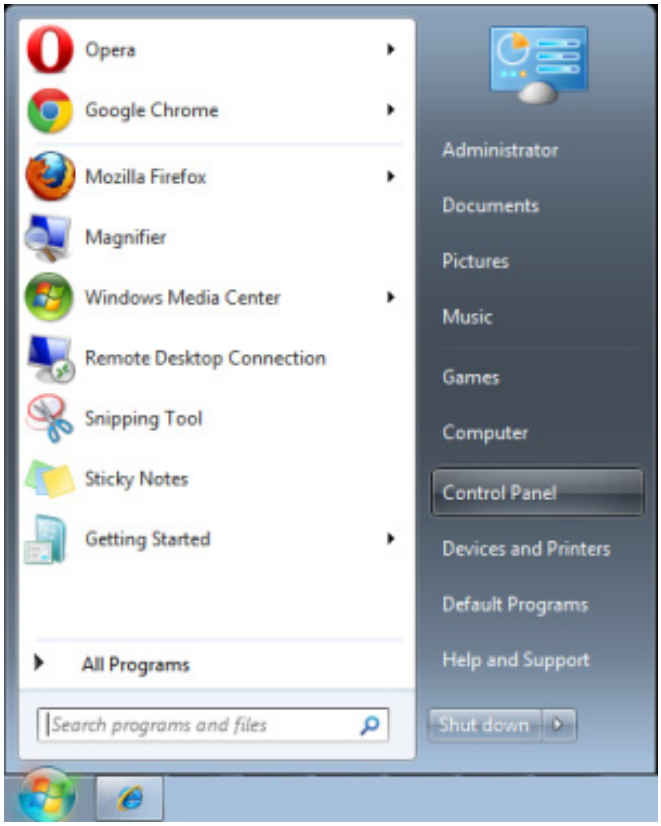
LAN/RJ45 ポートおよびプロジェクタのリモコンに接続する外部デバイスの範囲および外部デバイスの関連制御コマンドの詳細は、サポートサービスチームに直接お問合せください

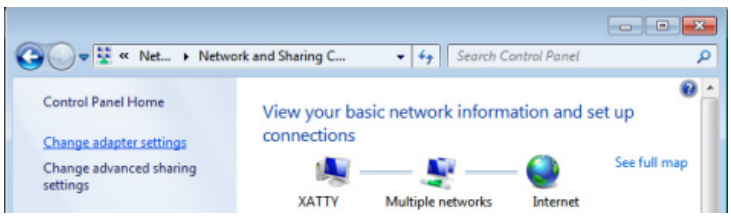
LAN RJ45

1. RJ45 ケーブルを、プロジェクタと PC（ラップトップ）の RJ45 ポートに接続します。

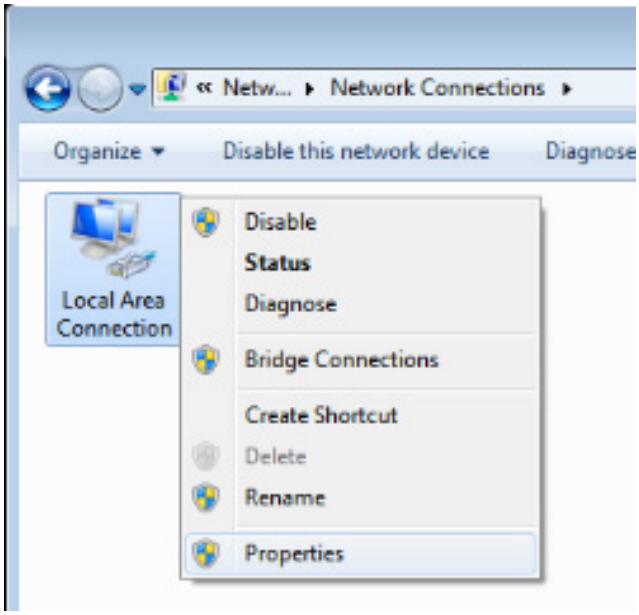


2. PC（ラップトップ）上で、**スタート → コントロール パネル → ネットワークおよびインターネット**を選択します。



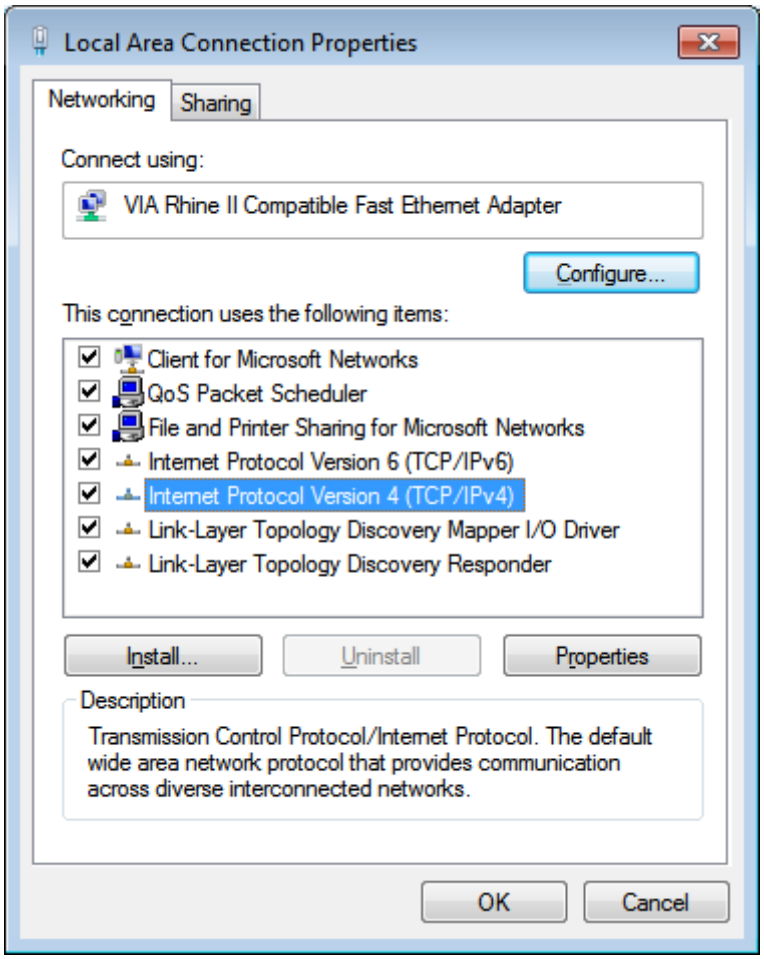


3. **ローカルエリア接続** を右クリックして、**プロパティ**を選択します。

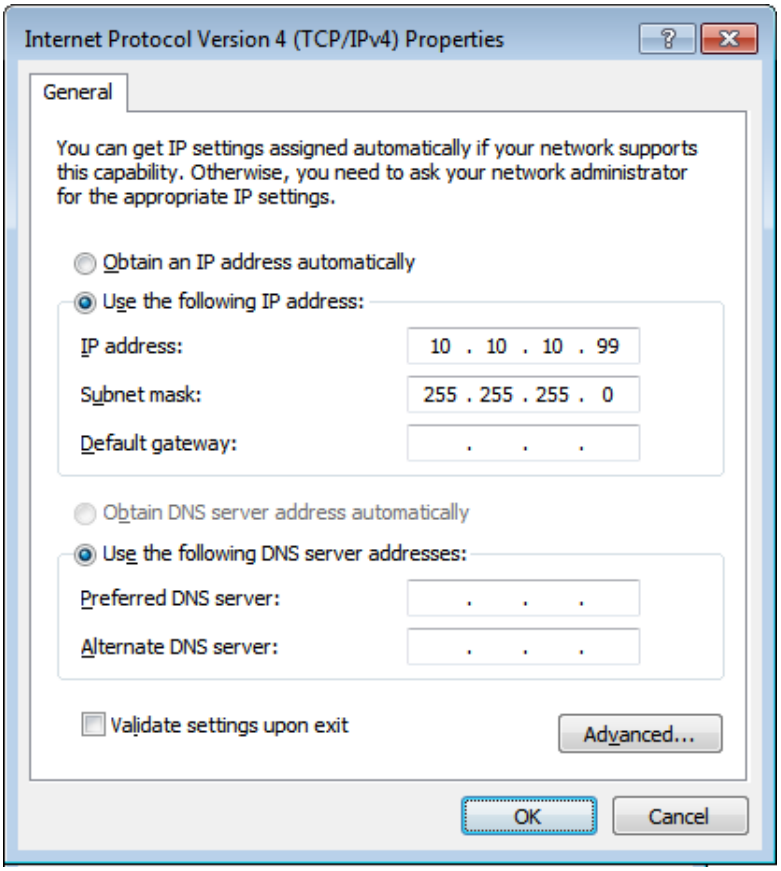


4. **プロパティ**ウィンドウで、**ネットワーク**タブを選択し、次に、**インターネットプロトコル（TCP/IP）**を選択します。

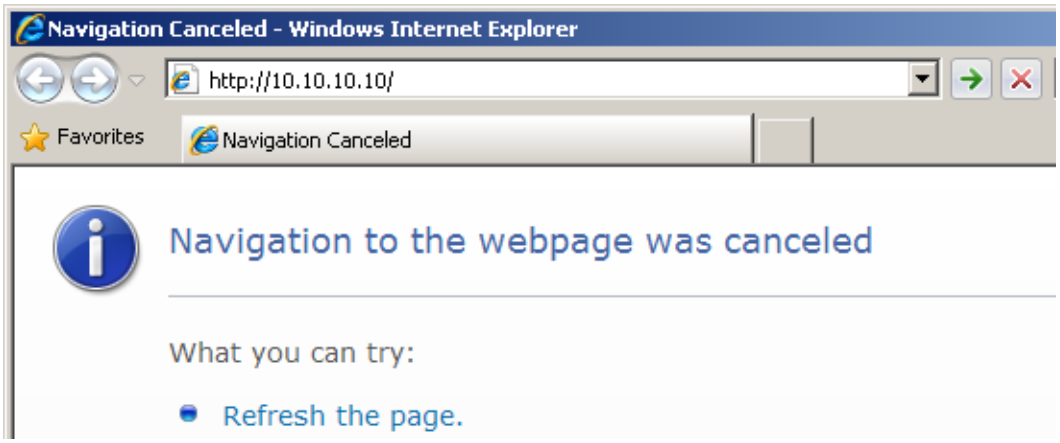
5. **プロパティ**をクリックします。



6. Click **Use the following IP address（次の IP アドレスを使用する）**をクリックし、IP アドレスとサブネットマスクのフィールドに入力して、次に、 **OK** をクリックします。

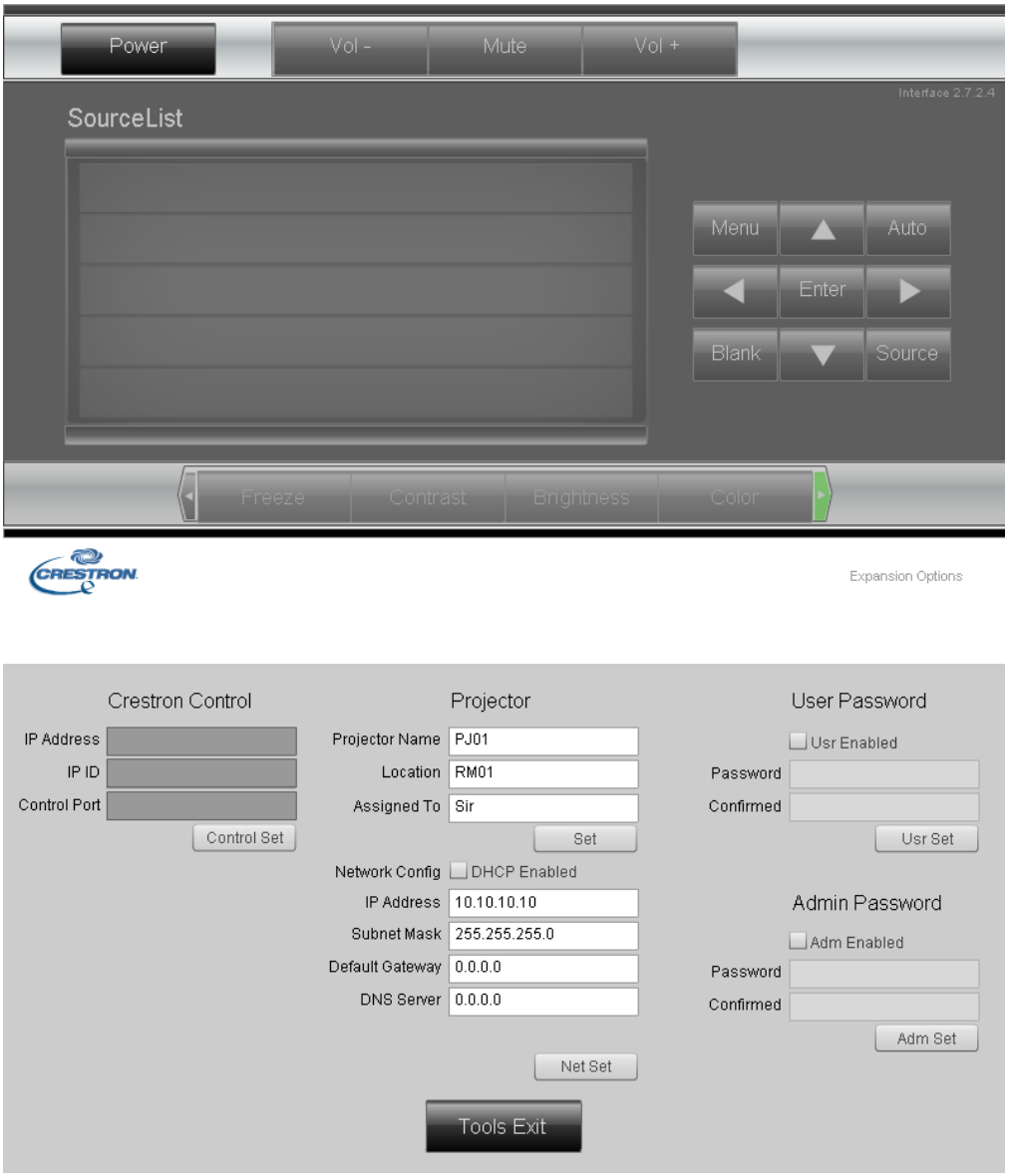


7. プロジェクタの **Menu（メニュー）**ボタンを押します。
8. **設定 2** → **詳細 1** → **RS232** → **ネットワーク**オプションを選択します
9. After getting into **ネットワーク**を開いたら、次を入力します:
   - DHCP:オフ
   - IP アドレス: 10. 10. 10. 10
   - サブネットマスク: 255.255.255.0
   - ゲートウェイ: 0.0.0.0
   - DNS サーバー: 0.0.0.0
10. ↵（エンター） / ► を押して設定を確定します。.
11. ウェブブラウザ（Adobe Flash Player 9.0 以上を使用する Microsoft Internet Explorer など）を開きます。



12. アドレスバーに IP アドレスを入力します: 10. 10. 10. 10.
13. ↵（エンター） / ► を押します。

プロジェクタがリモート管理用にセットアップされます。次の図のように、LAN/RJ45 機能が表示されます。



カテゴリ	項目	入力長
Crestron 制御	IP アドレス	15
	IP ID	3
	ポート	5
プロジェクタ	プロジェクタ名	10
	位置	10
	割り当て先	10
ネットワーク設定	DHCP (有効)	(N/A)
	IP アドレス	15
	サブネットマスク	15
	デフォルトのゲートウェイ	15
	DNS サーバー	15
ユーザーパスワード	有効	(N/A)
	新規パスワード	10
	確定	10
管理者パスワード	有効	(N/A)
	新規パスワード	10
	確定	10

詳細情報については、http://www.crestron.com/ をご覧ください。

RS232 by Telnet 機能

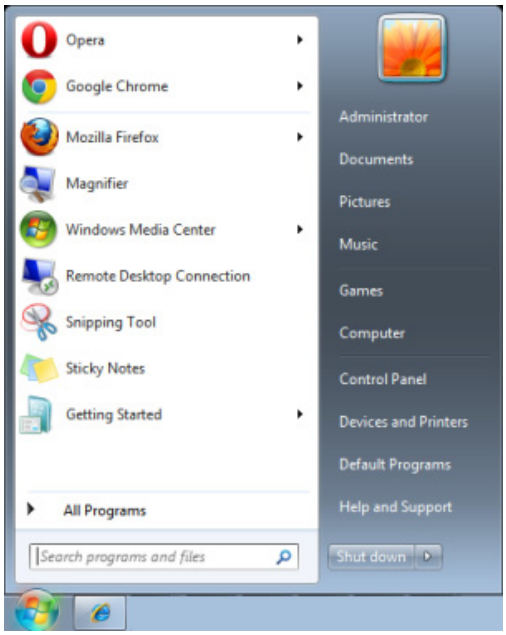
プロジェクタは専用の RS232 コマンド制御による「ハイパー端末」通信で RS232 インターフェースに接続されているだけでなく、代替の RS232 コマンド制御方法があるため、LAN/RJ45 インターフェースの場合は「RS232 by TELNET」と呼ばれます。

「RS232 by TELNET」用のクイックスタートガイド

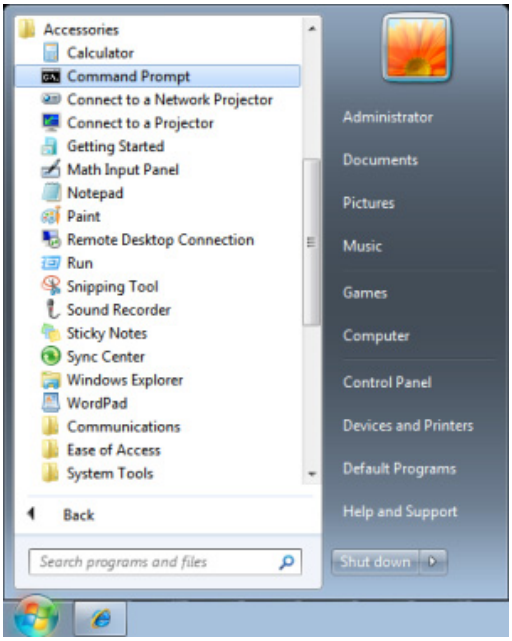
プロジェクタの OSD で IP 位置をチェックし、取得します。

ラップトップ/PC がプロジェクタの Web ページにアクセスできることを確認します。

「Telnet」機能がラップトップ/PC によって除去されている場合、「Windows Firewall」設定が無効にされていることを確認します。



スタート => すべてのプログラム => アクセサリ => コマンドプロンプト



コマンドフォーマットを以下のように入力します:

telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 (「エンター」キーを押す)

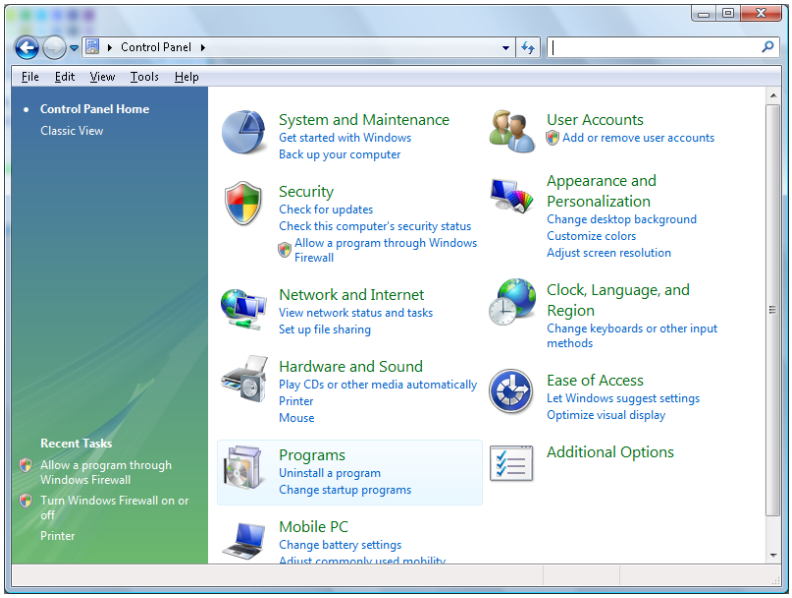
（**ttt.xxx.yyy.zzz**:プロジェクタの IP 位置）

Telnet-Connection の準備ができて、ユーザーが RS232 コマンドを入力できるようになった場合、「エンター」キーを押すと、RS232 コマンドが実行可能になります。

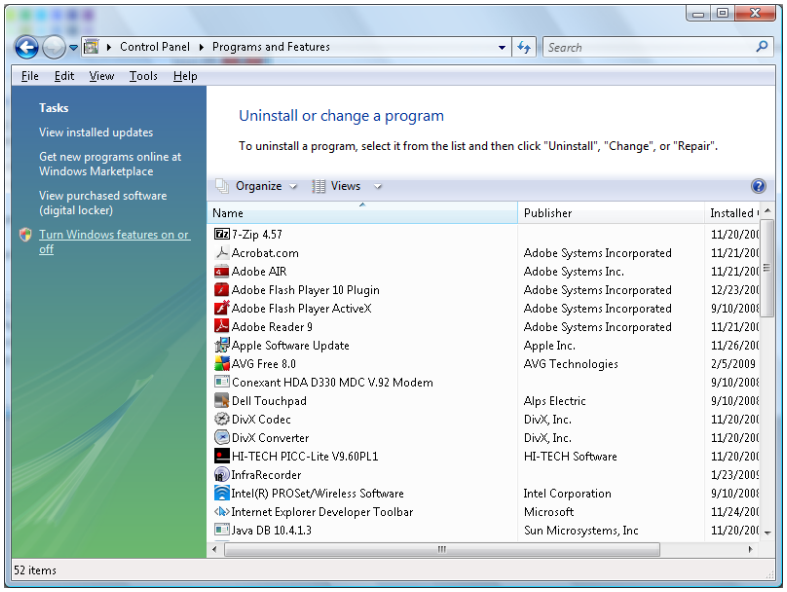
Windows VISTA / 7 で TELNET を有効化する方法

Windows VISTA のデフォルトのインストールでは、「TELNET」機能は含まれていません。しかし、エンドユーザーは「Windows 機能のオンまたはオフを切り替える」によってその機能を有効にすることができます。

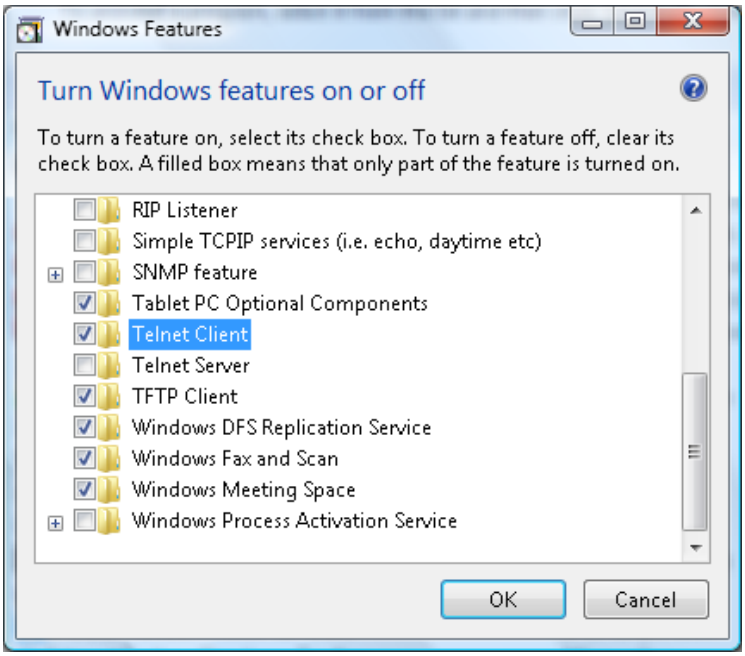
Windows VISTA で「コントロールパネル」を開きます



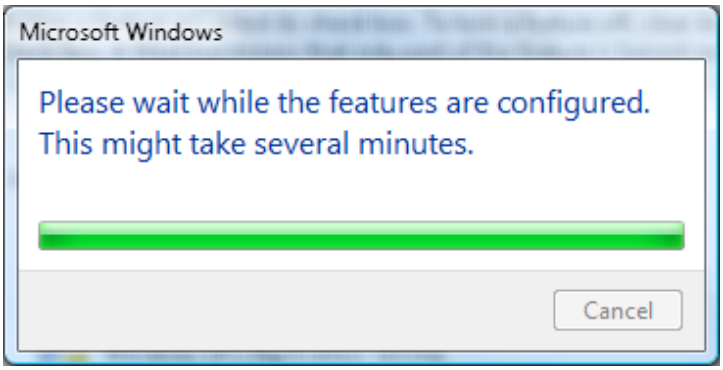
「プログラム」を開きます



「Windows 機能のオンまたはオフを切り替える」を選択して開きます



「Telnet Client」オプションにチェックマークを入れて、「OK」ボタンを押します。



「RS232 by TELNET」のスペックシート:

1. Telnet:TCP
2. Telnet ポート: 23（詳細は、サービス代理店またはサービスチームにお問い合わせください）
3. Telnet ユーティティ:Windows “TELNET.exe” （コンソールモード）
4. 通常の RS232 by TELNET コントロール用の接続:TELNET 接続準備ができたら Windows Telnet ユーティリティを直接閉じます
5. Telnet-Control の場合の制限 1:1 台のプロジェクタの Telnet-Control に、接続は 1 つしかありません

   Telnet-Control の場合の制限 2:Telnet-Control アプリケーションの場合、連続できるネットワークペイロードは 50 バイト未満です。

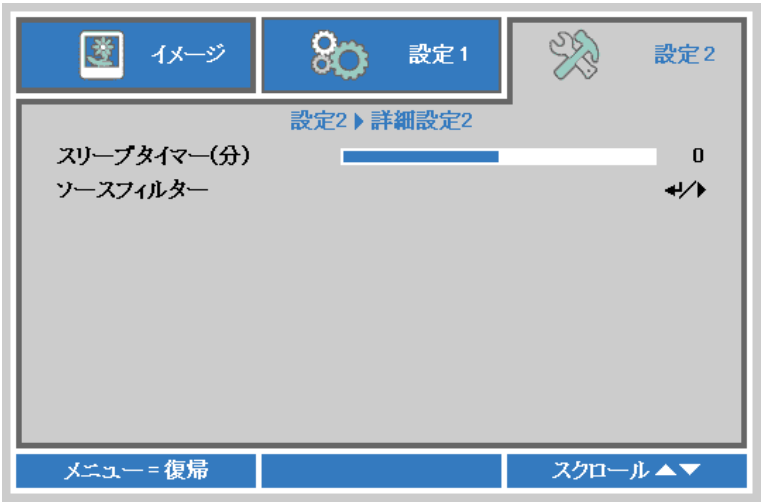
   Telnet-Control の場合の制限 3:Telnet-Control の場合、1 つの完全な RS232 コマンドは 26 バイト未満です

   Telnet-Control の場合の制限 4:次の RS232 コマンドの最小遅延は 200 (ms) 以上にする必要があります。

   （*、Windows 組み込み「TELNET.exe」ユーティリティでは、「エンター」キーを押すと「改行」と「復帰」コードが有効になります。）

詳細 2 機能

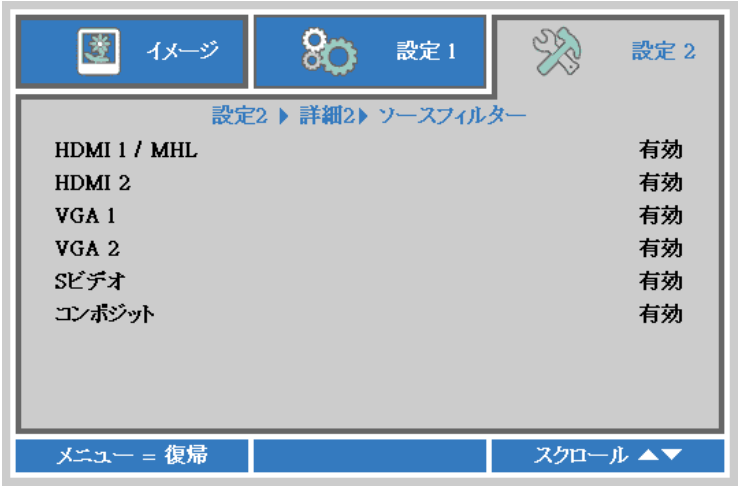
Menu（メニュー）ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◄► を押して**設定 2** メニューへ移動します。▲▼ を押して、**詳細 2** メニューへ移動し、次に、**Enter**（エンター）または ► を押します。▲▼ を押して、**詳細 2** メニュー内を上下に移動します。◄► を押して設定用の値を変更します。



項目	説明
スリープタイマー（分）	カーソル ◄► ボタンを押してスリープタイマーを設定します。 プリセットした時間が過ぎると、プロジェクタは自動的にオフになります。
ソースフィルター	↵（エンター）/ ► を押してソースフィルター メニューを開きます。「44」に関する詳細情報については、*ソースフィルター* ページを参照してください。

ソースフィルター

ENTER ボタンを押して、**ソースフィルター**サブメニューを開きます。



項目	説明
HDMI1/MHL	◄► ボタンを押して、HDMI1/MHL 互換ソースを有効にしたり無効にします。
HDMI2	◄► ボタンを押して、HDMI2 ソースを有効にしたり無効にします。
VGA1	◄► ボタンを押して、VGA1 ソースを有効にしたり無効にします。
VGA2	◄► ボタンを押して、VGA2 ソースを有効にしたり無効にします。
S ビデオ	◄► ボタンを押して、S ビデオを有効にしたり無効にします
コンポジット	◄► ボタンを押して、コンポジットビデオを有効にしたり無効にします。

メンテナンスとセキュリティ

投映ランプを交換する

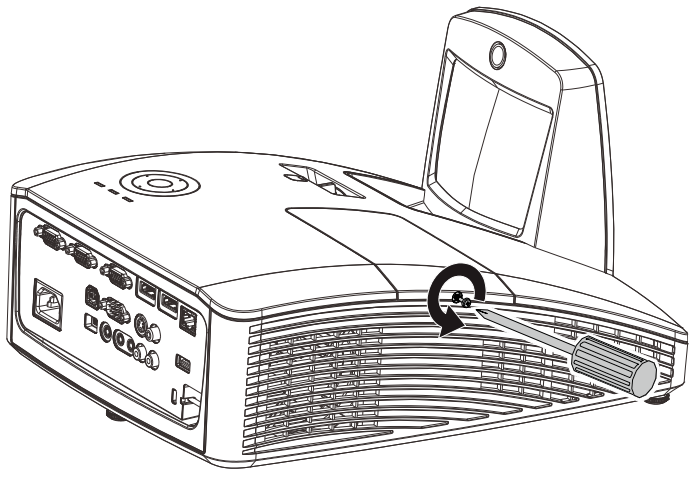
投映ランプはオフにしてから交換します。認定交換部品と交換します。認定交換部品は、最寄りの販売代理店でご注文いただけます。

> ⚠ ***重要:***
> ***a.*** *本製品で使用する投映ランプには少量の水銀が含まれています。*
>
> ***b.*** *本製品は一般家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。*
>
> ***c.*** *本製品を廃棄する際には、お住まいの地域の規制に従ってください。*

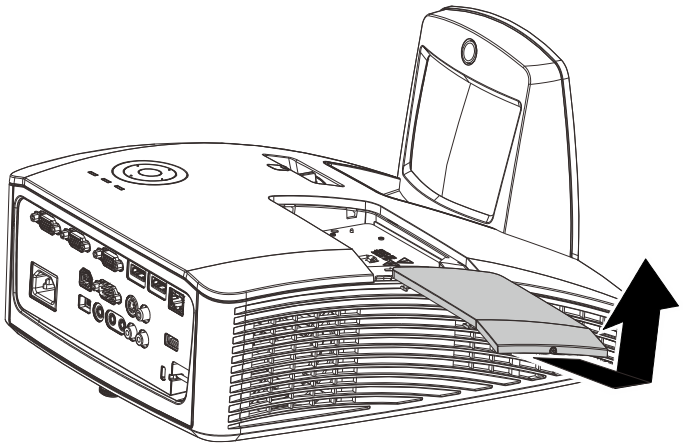
> ⚠ ***警告:***
> *ランプを交換する前に、プロジェクタの電源をオフにしてプラグを抜き、最低 30 分間待ちます。そうしないと大火傷をすることがあります。*

> ⚠ ***注意:***
> *万一、通常の操作中に電球が焼き切れた場合、ガラス粉や破片が背面の通気孔から放出されることがあります。*
> *ガラス粉を吸い込んだり、ガラス破片に触れたりしないでください。負傷の原因となります。*
> *ランプのガスや割れた破片で負傷しないように、通気孔から常に顔を背けるようにしてください。*
> *天井マウントプロジェクタからランプを取り外すとき、プロジェクタの下に誰もいないことを確認してください。ランプが焼き切れると、ガラス破片が落ちる可能性があります。*
>
> ⚠ ***ランプが破裂した場合***
> *ランプが破裂すると、ガスと割れた破片がプロジェクタ内部に飛散し通気孔から飛び出すことがあります。ガスには、有毒な水銀が含まれています。*
> *通気用の窓とドアを開けてください。*
> *ガスを吸い込んだ場合、または割れたランプの破片が眼や口に入った場合、直ちに医師の診察を受けてください。*

1. ランプ収納部のカバーの 1 本のねじを取り外します。



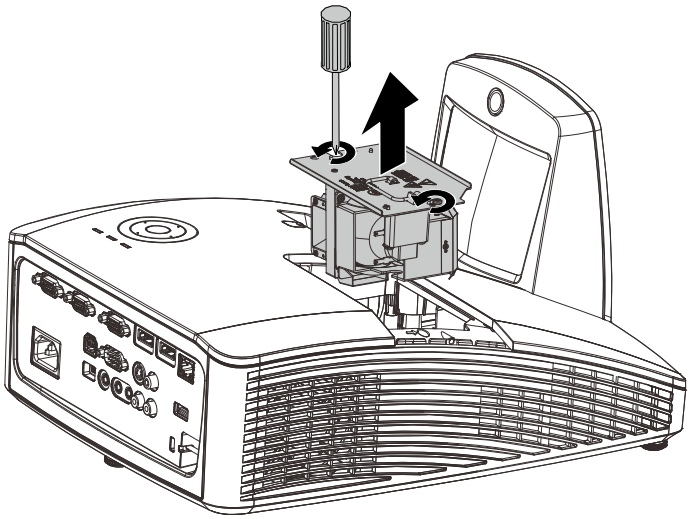
2. ランプ収納部のカバーを取り外します。



3. ランプモジュールの 2 本のねじを取り外します。

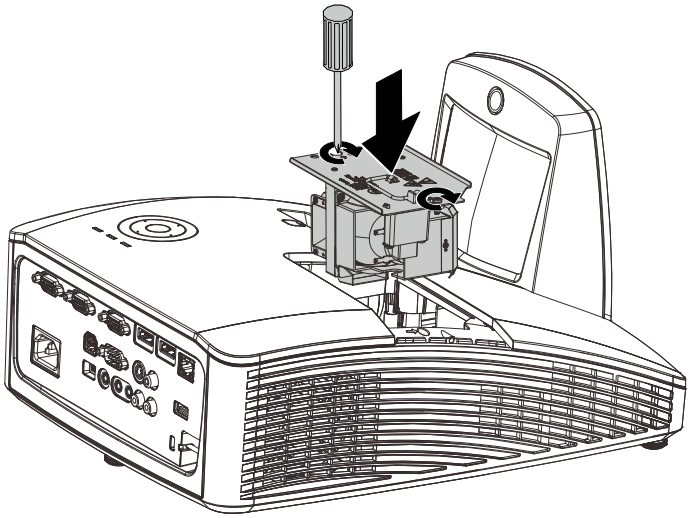
4. モジュールハンドルを持ち上げます。

5. モジュール
ハンドルを強く引いて、ランプモジュールを取り外します。



6. ステップ 1 ～ 5 の逆の手順で、新しいランプモジュールを取り付けます。
取り付けの際には、破損を防止するために、ランプモジュールを
コネクタと揃えて、平らになっていることを確認します。

注記: ねじを締める前に、ランプモジュールが定位置にしっかり固定されており、ランプコネクタが正しく接続していることを確認します。

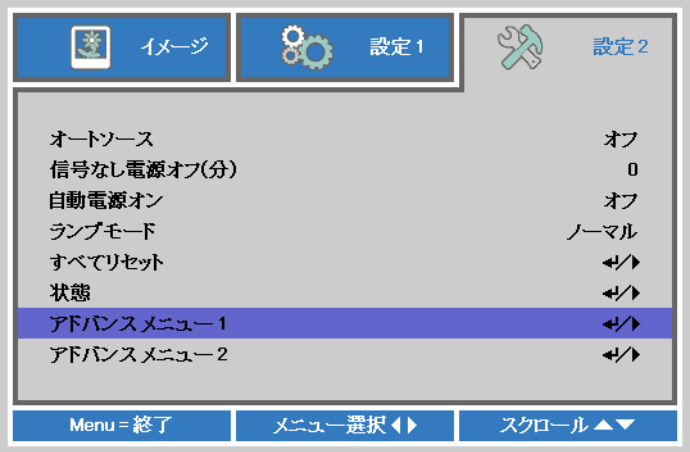


ランプをリセットする

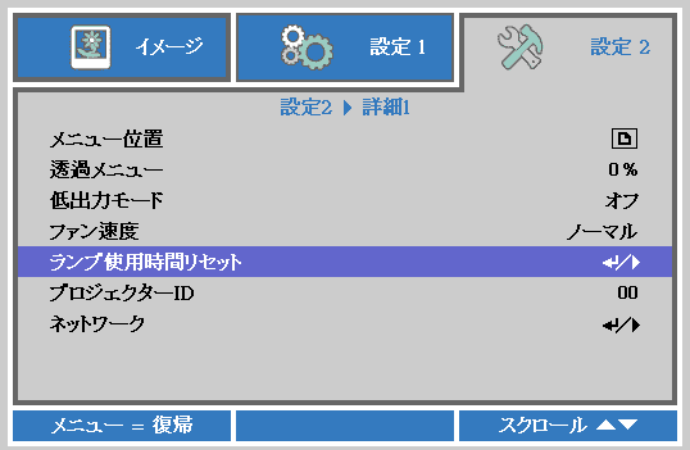
ランプを交換したら、ランプ使用時間カウンタをゼロに戻します。次の手順でリセットします。

1. **MENU**（メニュー）ボタンを押して OSD メニューを開きます。

2. カーソル ◄► ボタンを押して、**設定 2** メニューへ移動します。. カーソルボタンを押して、**詳細 1** を上下に移動し、Enter を押します。



3. カーソル ▼▲ ボタンを押して、**ランプ使用時間リセット**へ移動します。

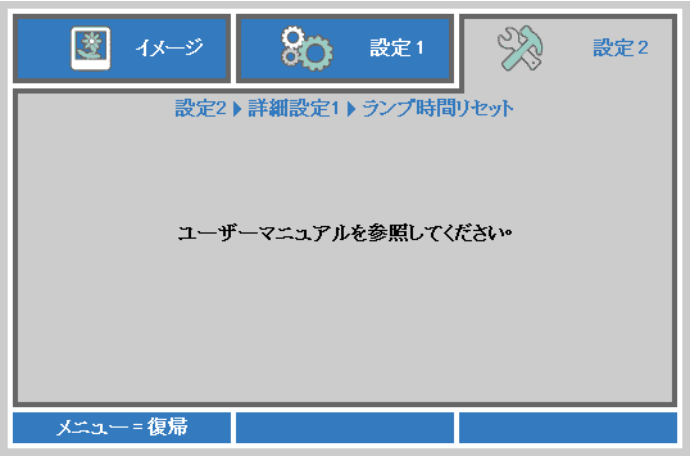


4. カーソル ► または Enter（エンター）ボタンを押します。

   メッセージ画面が表示されます。

5. ▼▲◄► ボタンを押して、ランプ使用時間をリセットします。

6. **MENU**（メニュー）ボタンを押して、**設定 2** へ戻ります。

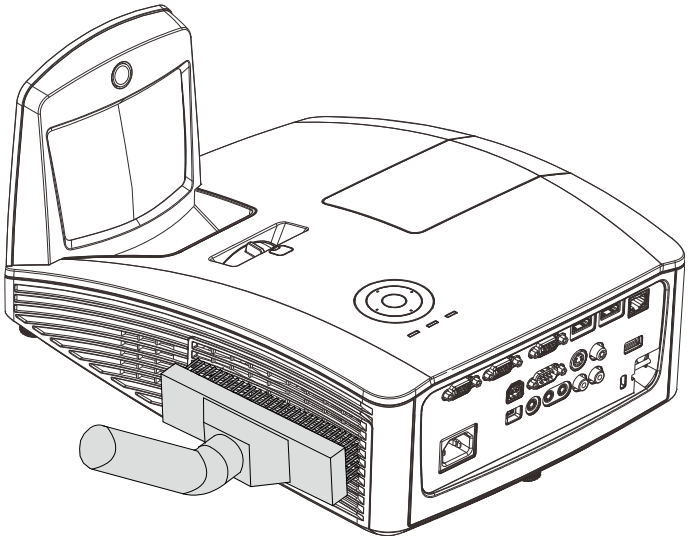


フィルターの清掃（フィルター： オプション部品）

エアフィルターにより、プロジェクタ内部の光学素子の表面へのほこりの蓄積を防ぐことができます。 フィルターが汚れていたり、目詰まりしている場合は、プロジェクタが過熱したり、投影された画像の品質が劣化する場合があります。

1. プロジェクタの電源を切り、AC コンセントから AC 電源コードを抜いてください。

2. 掃除機でのフィルターの清掃。

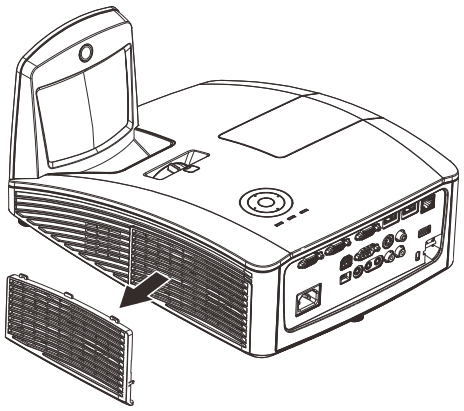


> ⚠ ***注意:***
>
> *プロジェクタを操作する際は、ほこりや煙の環境を避けるようお勧めします、悪い画質を引き起こす可能性があります。*
>
> *フィルターが過度に目詰まりし、清掃できない場合は、新しいフィルターで交換してください。*

> ***注記：***
>
> *はしごを使用してフィルターにアクセスすることをお勧めします。 壁面マウントからプロジェクタを取り外さないでください。*

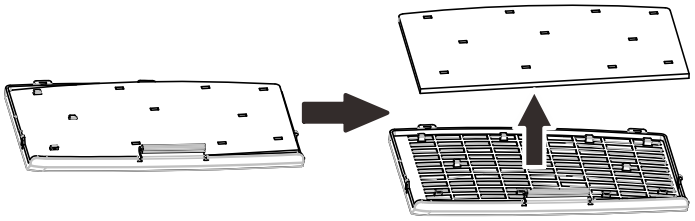
フィルターの交換

1. プロジェクタの電源を切り、AC コンセントから AC 電源コードを抜いてください。
プロジェクタと通気口の周りのほこりを清掃します。
プロジェクタからフィルターカバーを引き出して、取り外します

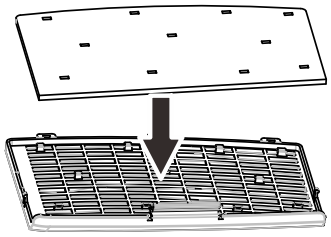


両側のフィルターを清掃する時は、優しく柔らかいブラシを使用してください。

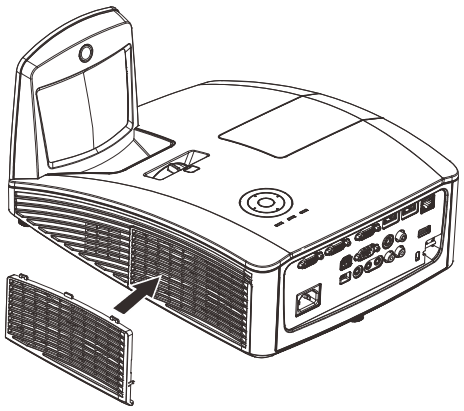
2. またはフィルターカバーからフィルターを持ち上げます。



3. 新しいフィルターモジュールを交換するか、または、カバーにフィルターを交換してください。



4. 図の方向に軽く押すことで、プロジェクタにフィルターカバー
を取り付けます。



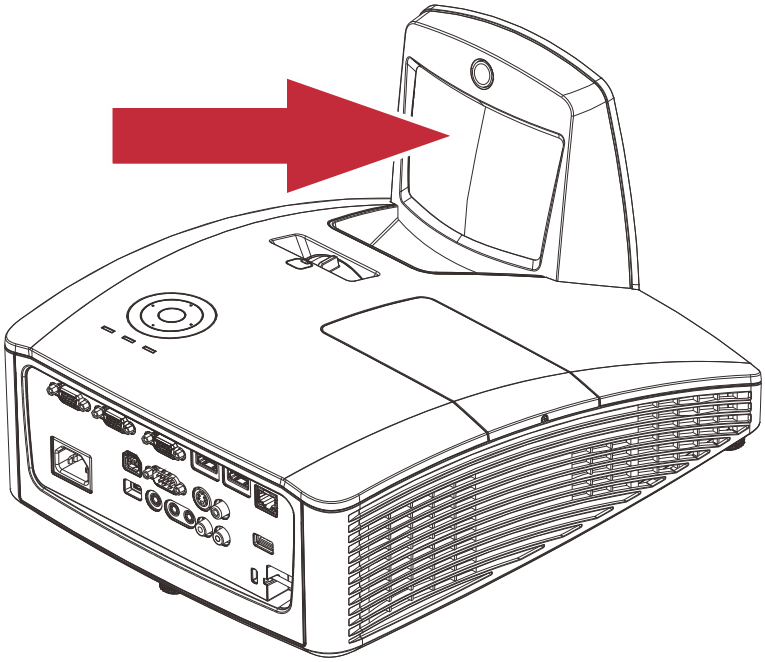
> ⚠ ***警告：***
> *水または他の液体で、フィルターを洗浄しないでください*

> ⚠ ***重要：***
> *ランプ交換時には、フィルターは清掃せず、交換する必要があります。*

プロジェクタを清掃する

プロジェクタが問題なく動作するように、プロジェクタを清掃して埃や汚れを取り除きます。

プロジェクタミラーの清掃：



カメラ店で販売している「ベローズ/レンズブロワー」を使ってほこりを取り除き、
その後の清掃で、ミラーを傷つけないようにします。

> ⚠ ***注意：***
>
> ***1.*** *必ずプロジェクタの電源をオフにし、清掃前に少なくとも 30 分間冷却します。*
>
> ***2.*** *手で直接プロジェクタミラーやレンズには絶対に触れないでください。*
>
> ***3.*** *研磨材入りクリーナー、溶剤やその他の強力な化学洗剤を使用しないでください。*

ケースを清掃する

次のようにプロジェクタケースを清掃します。

1. 汚れのない湿らせた布で埃を拭き取ります。
2. お湯と中性洗剤（皿洗い洗剤など）で湿らせた布でケースを拭きます。
3. 洗剤を洗い流した布でプロジェクタをもう一度拭きます。

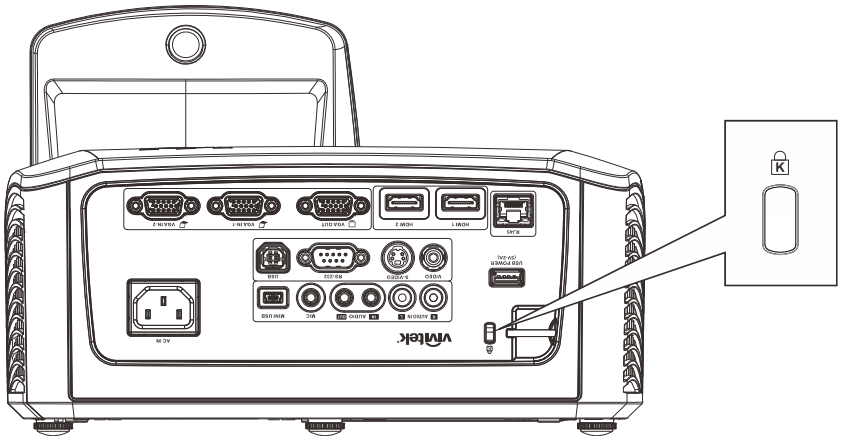
> ⚠ ***注意:***
> *アルコールベースの研磨クリーナーは使わないでください。変色や色あせの原因になることがあります。*

> ⚠ ***警告:***
> ***1.*** *ランプを交換する前に、プロジェクタの電源をオフにしてプラグを抜き、最低 30 分間待ちます。そうしないと大火傷をすることがあります。*
>
> ***2.*** *清掃には、湿らせた布だけを使います。通気開口部からプロジェクタ内部に水が入らないように注意してください。*
>
> ***3.*** *清掃中に少量の水がプロジェクタ内部に入った場合は、使用する前に、プラグを抜いたまま、通気の良い部屋で数時間乾かします。*
>
> ***4.*** *清掃中に大量の水がプロジェクタ内部に入った場合は、プロジェクタを点検修理に出してください。*

物理的ロックを使用する

Kensington[3] ロックを使用する

プロジェクタの盗難を防止するために、ケンジントンスロットとセキュリティケーブルを使って、プロジェクタを机などに固定できます。



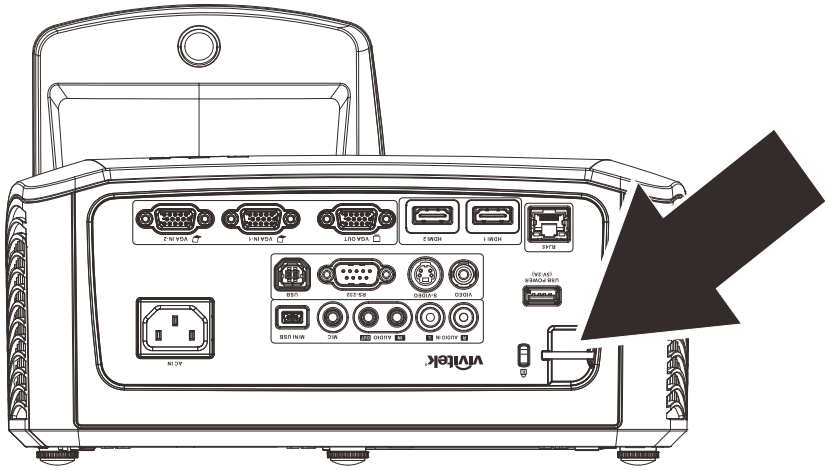
注記:
適切なケンジントンセキュリティケーブルについては、販売店までお問い合わせください。

セキュリティー・ロックは、Kensington の MicroSaver セキュリティシステムに対応します。ご不明な点については、次までお問い合わせください:Kensington, 2853 Campus Drive, San Mateo, CA 94403, U.S.A. 電話:800-535-4242, http://www.Kensington.com.

セキュリティバーを使用する

パスワード保護機能とケンジントンロックに加えて、セキュリティバーを使って、認証されていない人がプロジェクタを削除することを防止します。

下の図を参照してください。



トラブルシューティング

一般的な問題と解決方法

このガイドラインでは、プロジェクタの使用中に発生する可能性のある問題の解決方法を説明します。問題を解決できない場合は、販売代理店までご連絡ください。

問題解決のために時間を掛けた後で、問題が簡単な原因（接続が緩んでいたなど）に起因することが分かる場合があります。問題別の解決方法に進む前に、次の点をご確認ください。

- *その他の電気機器を使って、電気コンセントに問題がないことを確認します。*
- *プロジェクタがオンになっていることを確認します。*
- *すべての接続がしっかり取り付けられていることを確認します。*
- *取り付けた機器がオンになっていることを確認します。*
- *接続した PC がサスペンドモードになっていないことを確認します。*
- *接続したノートブックコンピュータが外部ディスプレイ用に設定されていることを確認します*
  （通常、ノートブック上の Fn キーの組み合わせを押して行ないます）。

トラブルシューティングについてのアドバイス

問題を迅速に解決するために、問題別のセクションで指定されている手順に従います。

問題を特定して、故障していない部品を不必要に交換しないようにします。
例えば、電池を交換しても問題が解決されない場合は、元の電池を取り付け直して、次の手順に進みます。

問題を解決するために取った手順を書き留めます。手順を書き留めておくと、技術サポートに電話して、サービス担当者に説明する際に役立つことがあります。

LED エラーメッセージ

エラーコードメッセージ	電源 LED 緑	ランプ LED 赤	温度 LED 赤
ランプの準備ができました	オン	オフ	オフ
スタート	点滅	オフ	オフ
冷却	点滅	オフ	オフ
過熱	オフ	オフ	オン
T1 エラー	3 回点滅	1 回点滅	オフ
温度ブレークセンサーエラー	4 回点滅	オフ	オフ
G794 エラー	4 回点滅	4 回点滅	オフ
ランプに障害が発生しました	5 回点滅	オフ	オフ
バラスト過熱	5 回点滅	1 回点滅	オフ
バラスト回路短絡	5 回点滅	2 回点滅	オフ
ランプ寿命が終了していることが検出されました	5 回点滅	3 回点滅	オフ
ランプが点灯しませんでした	5 回点滅	4 回点滅	オフ
通常の操作中にランプが消灯しました	5 回点滅	5 回点滅	オフ
ランアップフェーズでランプが消灯しました	5 回点滅	6 回点滅	オフ
ランプ電圧が低すぎます	5 回点滅	7 回点滅	オフ
バラストに障害が発生しました	5 回点滅	8 回点滅	オフ
バラスト通信障害	5 回点滅	10 回点滅	オフ
バラスト過熱	5 回点滅	11 回点滅	オフ
リストライクランプ障害 1	5 回点滅	12 回点滅	オフ
リストライクランプ障害 2	5 回点滅	13 回点滅	オフ
ランプに障害が発生しました 1	5 回点滅	14 回点滅	オフ
ランプに障害が発生しました 2	5 回点滅	15 回点滅	オフ
ファン 1 にエラーが発生しました	6 回点滅	1 回点滅	オフ
ファン 2 にエラーが発生しました	6 回点滅	2 回点滅	オフ
ファン 3 にエラーが発生しました	6 回点滅	3 回点滅	オフ
ファン 4 にエラーが発生しました	6 回点滅	4 回点滅	オフ
ケースが開いています	7 回点滅	オフ	オフ
DMD エラー	8 回点滅	オフ	オフ
カラーホイールエラー	9 回点滅	オフ	オフ

エラーが発生した場合は、AC 電源コードの接続を外して、約 1 分待ってから、プロジェクタを再起動します。POWER(電源)またはLAMP LED (ランプLED)がまだ点滅していたり、TEMP LED (温度LED)が点灯している場合、または上の図に記載されていない状況が発生した場合、サービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

問題:スクリーンに画像が表示されない

1. ノートブックまたはデスクトップ PC 上の設定を確認します。

2. 正しい順序で、すべての装置の電源をいったん切ってから、もう一度電源を入れ直します。

問題:画像がぼやける

1. プロジェクタ上の **フォーカス**を調整します。
2. リモコン上の **Auto**（オート）ボタンを押します。
3. プロジェクタからスクリーンまでの距離が、指定された範囲以内であることを確認します。
4. プロジェクタレンズが汚れていないことを確認します。

問題:画像の上辺または下辺が長い（台形歪み）

1. プロジェクタは、スクリーンに対してできるだけ垂直になるように置きます。
2. リモコン上の **Keystone**（キーストーン）ボタンを使って、台形歪みを補正します。

問題:画像が反転する

OSD の **設定 1** メニューで**投影**設定を確認します。

問題:画像に線が入る

1. OSD の**イメージ->**コンピュータ **メニューで、**周波数**設定とトラッキング**設定をデフォルト設定にします。
2. 接続した PC のビデオカードが問題の原因でないことを確認するために、他のコンピュータに接続します。

問題:画像が平坦でコントラストがない

OSD の**イメージ**メニューで**コントラスト**設定を調整します。

問題:投映画像の色がソース画像と一致しない

OSD の**イメージ->詳細**メニューで、**色温度**設定と**ガンマ**設定を調整します。

ランプの問題

問題:プロジェクタから光が出ない

1. 電源ケーブルがしっかり接続されていることを確認します。
2. 電源に他の電気機器を接続して、電源が正常であることを確認します。
3. 正しい順序でプロジェクタを再起動して、電源 LED が点灯していることを確認します。
4. 最近ランプを交換した場合は、ランプの接続をもう一度確認します。
5. ランプモジュールを交換します。
6. 古いランプをプロジェクタに取り付け直して、プロジェクタを点検修理に出します。

問題:ランプがオフになる

1. 電力サージがあるとランプがオフになることがあります。電源コードを接続し直します。電源 LED がオンの場合は、電源ボタンを押します。
2. ランプモジュールを交換します。
3. 古いランプをプロジェクタに取り付け直して、プロジェクタを点検修理に出します。

リモコンの問題

問題:プロジェクタがリモコンに反応しない

1. リモコンをプロジェクタのリモートセンサーに向けます。
2. リモコンとセンサーの間に障害物がないことを確認します。

3. 室内の蛍光灯を消します。
4. 電池の極性を確認します。
5. 電池を交換します。
6. 周辺にあるその他の赤外線対応機器をオフにします。
7. リモコンを点検修理に出します。

音声の問題

問題:音声が聞こえない

1. リモコンの音量を調整します。
2. オーディオソースの音量を調整します。
3. オーディオケーブルの接続を確認します。
4. その他のスピーカーを使って、ソースオーディオの出力をテストします。
5. プロジェクタを点検修理に出します。

問題:音声が歪む

1. オーディオケーブルの接続を確認します。
2. その他のスピーカーを使って、ソースオーディオの出力をテストします。
3. プロジェクタを点検修理に出します。

プロジェクタを点検修理に出す

ご自分で問題を解決できない場合は、プロジェクタを点検修理に出します。プロジェクタを元の段ボール箱に梱包します。問題の説明と、問題を解決するために試みたことを記載したチェックリストを同封してください。これらの情報は、サービス担当者の役に立つことがあります。点検修理のために、プロジェクタをご購入いただいた所へお戻しください。

HDMI に関するよくあるご質問

質問 「標準」HDMI ケーブルと「高速」HDMI ケーブルの違いは何ですか?

1. HDMI Licensing, LLC は、ケーブルを「標準」ケーブルまたは「高速」ケーブルに分類することを発表しました。
2. 「標準」（または「カテゴリ 1」）HDMI ケーブルは、75Mhz の速度、または、2.25Gbps の最大速度（これは、720p/1080i 信号に相当します）で伝送することを試験して確認します。
3. 「高速」（または「カテゴリ 2」）HDMI ケーブルは、340Mhz の速度、または、10.2Gbps の最大速度で伝送することを試験して確認します。これは、HDMI ケーブル経由で利用できる最高帯域幅であり、1080p 信号を処理できるので、ソースの色深度やリフレッシュレートが大きい場合でも対応します。高速ケーブルは、WQXGA 対応の映画館用モニター（解像度 2560 x 1600）など、高解像度ディスプレイにも対応します。

質問 10 メートルを超える HDMI ケーブルを使用するにはどうすればよいですか?

4. HDMI ソリューション用の各種 HDMI アダプタがあります。これらのアダプタを使って、ケーブルの有効距離を 10 メートルの標準距離から延長できます。アクティブケーブル（アクティブエレクトロニクスがケーブルに内蔵されており、ケーブルの信号を強化して拡張します）、リピーター、アンプ、CAT5/6、ファイバーソリューションなど、さまざまなソリューションがあります。

質問 HDMI 規格認証済ケーブルかどうかはどうやって確認できますか?

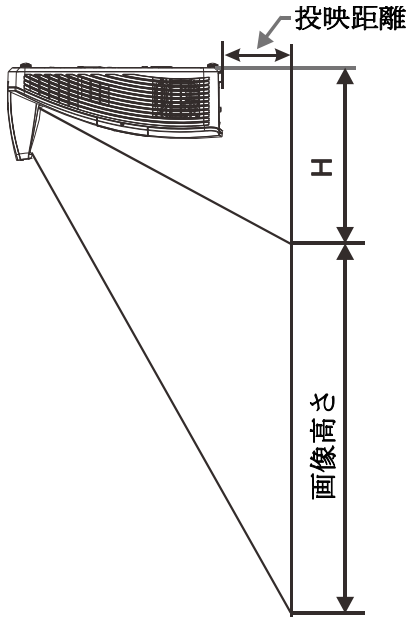
5. HDMI 製品はすべて、HDMI CTS（Compliance Test Specification）の一環として、製造元よる認証が義務付けられています。しかしながら、HDMI ロゴのあるケーブルでも、正しい試験を受けていないことがあります。HDMI Licensing, LLC では、HDMI 商標が市場で正しく使用されるように、このようなケーブルについて積極的に調査しています。消費者の皆様には、評判の良い販売店で信頼できる企業が製造したケーブルをお買い求めになることを推奨します。

詳細情報については、http://www.hdmi.org/learningcenter/faq.aspx#49 をご覧ください。

仕様

機種	DH758UST	DH758USTIR
ディスプレイタイプ	DMD 0.65 インチ 1080P	
解像度	1080P 1920 x 1080 ネイティブ	
投映距離	663mm ～ 833mm	
投映画面サイズ	16:9 (88”~110”)	
投映レンズ	固定	
スローレシオ	0.33 : 1	
垂直キーストーン補正	+/- 40 度	
投映方法	前面、背面、デスクトップ/天井（背面、前面）	
データ互換性	VGA、SVGA、XGA、SXGA、UXGA、Mac	
SDTV/EDTV/ HDTV	480i、576i、480p、576p、720p、1080i、1080p	
ビデオ互換性	NTSC/NTSC 4.43、PAL（B/G/H/I/M/N/60）、SECAM	
水平同期	15、30 ～ 91.4 kHz	
垂直同期	24 ～ 30、47 ～ 120 Hz	
安全認定	FCC、UL、cUL、CB、CE、CCC、KC、PSB、CU、CECP、NOM、ICES-003、C-TICK	
動作温度	0 °C～ 40 °C	
寸法	287.5mm（幅）x 122.6mm（高）x 374.5mm（奥行）（鏡なし）	
AC 入力	AC ユニバーサル 100 ～ 240V	
消費電力	380W、0.5W 未満（スタンバイ）	
ランプ	280W	
レンズシフト制限機能	非対応	
オーディオスピーカー	10W x 2（ステレオ）	
インタラクティブ機能	非対応	対応
入力端子	VGA x 2	
	ミニジャック x 1（オーディオ入力）	
	コンポジットビデオ x 1	
	HDMI x 2	
	S ビデオ x 1	
	オーディオ入力（左/右）x 1	
	マイク x 1	
出力端子	VGA x 1（VGA 入力 1 専用ループスルー）	
	ミニジャック x 1（オーディオ出力）	
制御端子	RS-232C	
	RJ45	
	USB（タイプ B）	
	—	ミニ USB（インタラクティブ用）
	USB（タイプ A） 5V2A	
セキュリティ	ケンジントンロック	

投映距離と投映サイズ



投映距離とサイズの一覧

	DH758UST / DH758USTIR シリーズ			
	1080P			
	16:9			
対角	88.9"	99"	102"	110"
距離	340.3+/-20mm	421.4+/-20mm	445.8+/-20mm	510.5+/-20mm
画像幅	1968mm	2194mm	2262mm	2435mm
画像高さ	1107mm	1234mm	1272mm	1370mm
H	331.2+/-50mm	362.8+/-50mm	372.3+/-50mm	397.6+/-50mm

タイミングモード一覧

信号	解像度	水平同期 (KHz)	垂直同期 (Hz)	コンポジット S ビデオ	コンポーネント	RGB (アナログ)	DP/HDMI (デジタル)
NTSC	—	15.734	60	○	—	—	—
PAL/SECAM	—	15.625	50	○	—	—	—
VESA	720 x 400	31.5	70.1	—	—	○	○
	720 x 400	37.9	85.04	—	—	○	○
	640 x 480	31.5	60	—	—	○	○
	640 x 480	37.9	72.8	—	—	○	○
	640 x 480	37.5	75	—	—	○	○
	640 x 480	43.3	85	—	—	○	○
	800 x 600	35.2	56.3	—	—	○	○
	800 x 600	37.9	60.3	—	—	○	○
	800 x 600	46.9	75	—	—	○	○
	800 x 600	48.1	72.2	—	—	○	○
	800 x 600	53.7	85.1	—	—	○	○
	800 x 600	76.3	120	—	—	○	○
	1024 x 768	48.4	60	—	—	○	○
	1024 x 768	56.5	70.1	—	—	○	○
	1024 x 768	60	75	—	—	○	○
	1024 x 768	68.7	85	—	—	○	○
	1024 x 768	97.6	120	—	—	○	○
	1152 x 864	67.5	75	—	—	○	○
	1280 x 720	45	60	—	—	○	○
	1280 x 720	90	120	—	—	○	○
	1280 x 768	47.4	60	—	—	○	○
	1280 x 768	47.8	59.9	—	—	○	○
	1280 x 800	49.7	59.8	—	—	○	○
	1280 x 800	62.8	74.9	—	—	○	○
	1280 x 800	71.6	84.9	—	—	○	○
	1280 x 800	101.6	119.9	—	—	○	○
	1280 x 1024	64	60	—	—	○	○
	1280 x 1024	80	75	—	—	○	○
	1280 x 1024	91.1	85	—	—	○	○
	1280 x 960	60	60	—	—	○	○
	1280 x 960	85.9	85	—	—	○	○
	1366 x 768	47.7	60	—	—	○	○
	1400 x 1050	65.3	60	—	—	○	○
	1440 x 900	55.9	60	—	—	○	○

信号	解像度	水平同期 (KHz)	垂直同期 (Hz)	コンポジット S ビデオ	コンポーネント	RGB (アナログ)	DP/HDMI (デジタル)
	1440 x 900	70.6	75	—	—	○	○
	1600 x1200	75	60	—	—	○	○
	1680 x 1050	64.7	59.9	—	—	○	○
	1680 x 1050	65.3	60	—	—	○	○
	1920 x 1200	74	60	—	—	○	○
	1920 x 1080	67.5	60	—	—	○	○
Apple Macintosh	640 x 480	35	66.7	—	—	○	○
	832 x 624	49.7	74.5	—	—	○	○
	1024 x 768	60.2	74.9	—	—	○	○
	1152 x 870	68.7	75.1	—	—	○	○
SDTV	480i	15.734	60	—	○	—	○
	576i	15.625	50	—	○	—	○
EDTV	576p	31.3	50	—	○	—	○
	480p	31.5	60	—	○	—	○
HDTV	720p	37.5	50	—	○	—	○
	720p	45	60	—	○	—	○
	1080i	33.8	60	—	○	—	○
	1080i	28.1	50	—	○	—	○
	1080p	27	24	—	○	—	○
	1080p	28	25	—	○	—	○
	1080p	33.7	30	—	○	—	○
	1080p	56.3	50	—	○	—	○
	1080p	67.5	60	—	○	—	○

O:対応する周波数

—: 対応しない周波数

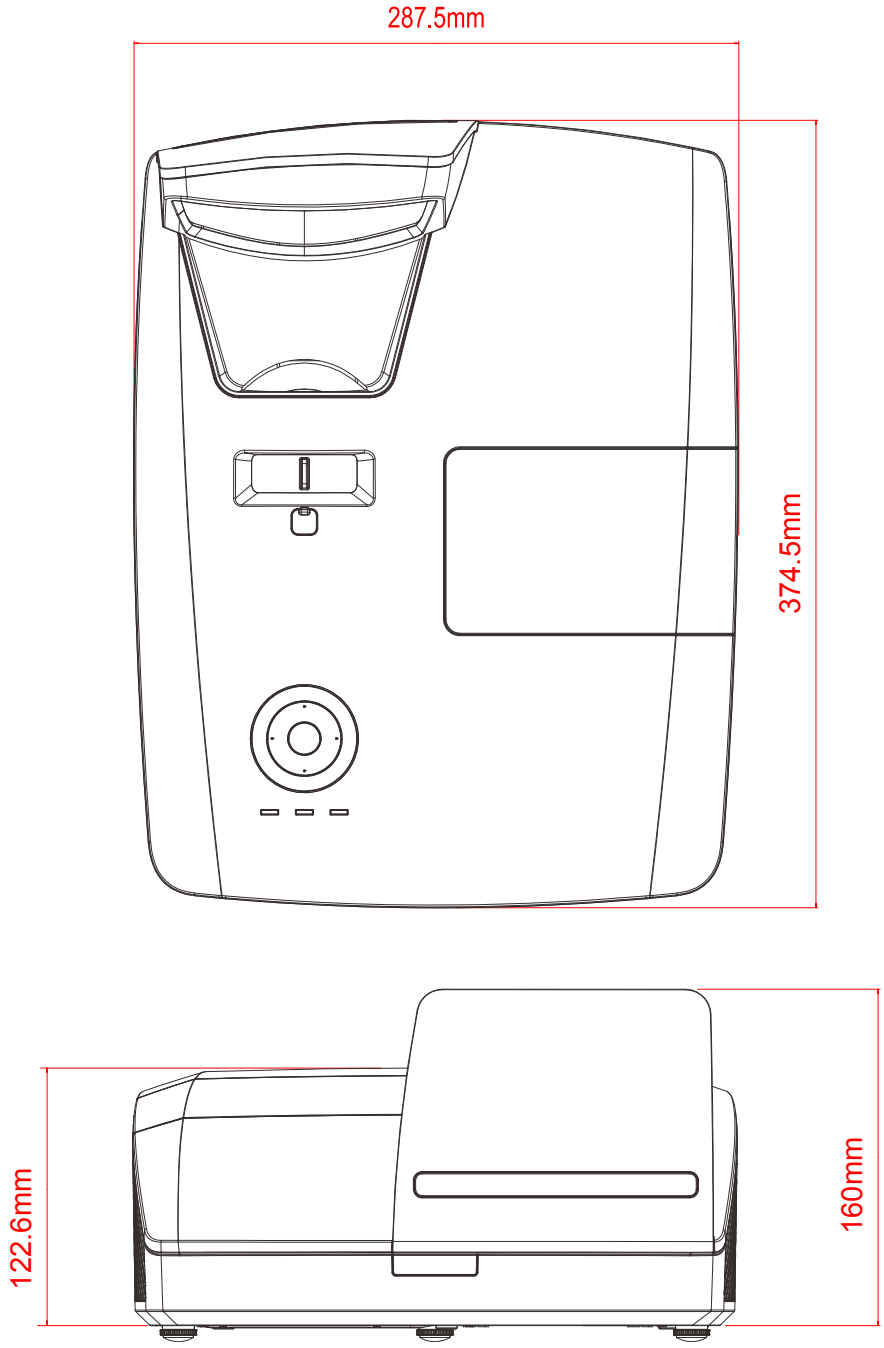
テキストまたはラインのサイズが不規則な場合、ネーティブ解像度以外の解像度が表示されます。

★ のカラーは、「表示可能」のみでさることを示します。 （4：3 のみ）

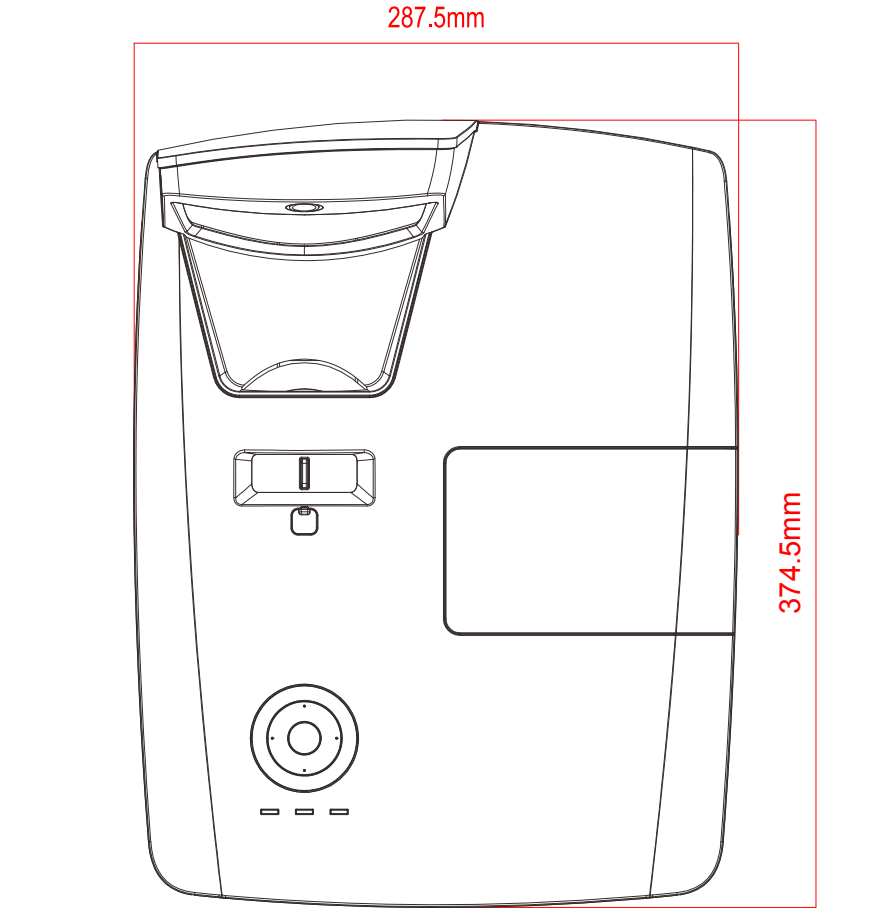
★ のカラーは、ビデオモード同期が自動調整しないので、少しノイズが許容可能であることを意味します。

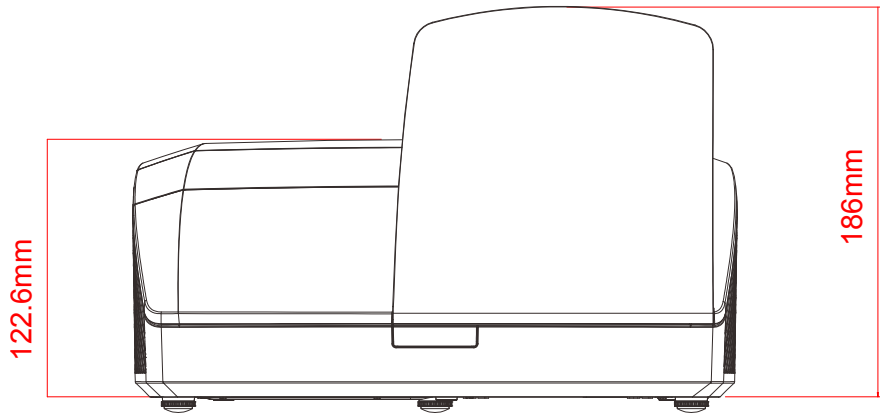
★HDTV タイミングの主要な確認ツールは DVD プレイヤーであり、VG828 は二次的です。

プロジェクタ寸法（DH758UST シリーズ）



プロジェクタ寸法（DH758USTIR シリーズ）





法規制準拠

FCC 警告

本装置は、FCC 規則の 15 条に準拠したクラス B デジタル機器の制限に適合していることが試験により確認されています。この制限は、装置を商業地域で使用する場合に、有害な電波障害に対する適切な保護を提供するために規定されています。

本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用し、また、放射することがあります。そのため、指示に従って設置および使用しない場合は、無線通信に有害な電波障害を及ぼすことがあります。本装置を住宅地で使用すると、有害な電波障害を引き起こす可能性があります。その場合は、ユーザー側の負担で電波障害を修正しなければなりません。

適合の責任団体による明確な承認を受けずに、変更したり改造した場合は、装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

カナダ

本クラス B デジタル機器はカナダの ICES-003 に準拠します。

安全認定

FCC, UL, cUL, CB, CE, CCC, KC, PSB, CU, CECP, NOM, ICES-003, C-TICK

付録 I

RS-232C プロトコル

RS232 設定

ボーレート:	**9600**
パリティチェック:	**なし**
データビット:	**8**
停止ビット:	**1**
フロー制御	**なし**

次のコマンドの最小遅延: **1 ミリ秒**

制御コマンド構造

	ヘッダコード	コマンドコード	データコード	終了コード
16 進法	**56H**	**コマンド**	**データ**	**0Dh**
ASCII	**'V'**	**コマンド**	**データ**	**CR**

動作温度

注記:

「CR」とはキャリッジリターン意味します

XX=00-98、プロジェクタの ID、XX=99 はすべてのプロジェクタ用です

結果を返す P=成功 / F=失敗

n:0:無効/1:有効/ 値 (0 ～ 9999)

コマンドグループ 00				
ASCII	**16 進法**	**関数**	**説明**	**結果を返す**
VXXS0001	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 31h 0Dh	Power On		P/F
VXXS0002	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 32h 0Dh	Power Off		P/F
VXXS0003	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 33h 0Dh	Resync		P/F
VXXG0004	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 34h 0Dh	Get Lamp Hours		Pn/F
VXXS0005n	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 35h nh 0Dh	Set Air filter timer	n=0~999999	P/F
VXXG0005	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 35h 0Dh	Get Air filter timer	n=0~999999	Pn/F
VXXS0006	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 36h 0Dh	System Reset		P/F
VXXG0007	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 37h 0Dh	Get System Status	0:Reset 1:Standby 2:Operation 3:Cooling	Pn/F
VXXG0008	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 38h 0Dh	Get F/W Version		Pn/F
VXXG0009	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 39h 0Dh	Get Alter EMail		Pn/F
VXXS0009n	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 39h nh 0Dh	Set Alter Email	n=xxxxxx@xxxx.xxx.xx	P/F

コマンドグループ 01				
ASCII	**16 進法**	**関数**	**説明**	**値を返す**
VXXG0101	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 31h 0Dh	Get Brightness	n=0~100	Pn/F
VXXS0101n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 31h nh 0Dh	Set Brightness	n=0~100	P/F
VXXG0102	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 32h 0Dh	Get Contrast	n=0~100	Pn/F
VXXS0102n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 32h nh 0Dh	Set Contrast	n=0~100	P/F
VXXG0103	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 33h 0Dh	Get Color	n=0~100	Pn/F
VXXS0103n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 33h nh 0Dh	Set Color	n=0~100	P/F
VXXG0104	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 34h 0Dh	Get Tint	n=0~100	Pn/F
VXXS0104n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 34h nh 0Dh	Set Tint	n=0~100	P/F
VXXG0105	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 35h 0Dh	Get Sharpness	0~31	Pn/F
VXXS0105n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 35h nh 0Dh	Set Sharpness	0~31	P/F
VXXG0106	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 36h 0Dh	Get Color Temperature	0:Warm 1:Normal 2:Cold	Pn/F
VXXS0106n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 36h nh 0Dh	Set Color Temperature	0:Warm 1:Normal 2:Cold	P/F
VXXG0107	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 37h 0Dh	Get Gamma	0:1.8 1:2.0 2:2.2 3:2.4 4:B&W 5:Linear	Pn/F
VXXS0107n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 37h nh 0Dh	Set Gamma	0:1.8 1:2.0 2:2.2 3:2.4 4:B&W 5:Linear	P/F
VXXG0108	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 38h 0Dh	Get Display Mode	0:Presentation 1:Bright 2:Game 3:Movie 4:TV 5:sRGB 6:Blackboard 7.User	P/F
VXXS0108n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 38h nh 0Dh	Set Display Mode	0:Presentation 1:Bright 2:Game 3:Movie 4:TV 5:sRGB 6:Blackboard 7.User	P/F

コマンドグループ 02				
ASCII	**16 進法**	**関数**	**説明**	**値を返す**
VXXS0201	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 31h 0Dh	Select RGB		P/F
VXXS0202	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 32h 0Dh	Select RGB2		P/F
VXXS0203	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 33h 0Dh	Select DVI		P/F
VXXS0204	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 34h 0Dh	Select Video		P/F
VXXS0205	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 35h 0Dh	Select S-Video		P/F

コマンドグループ 02				
ASCII	**16 進法**	**関数**	**説明**	**値を返す**
VXXS0206	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 36h 0Dh	Select HDMI		P/F
VXXS0207	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 37h 0Dh	Select BNC		P/F
VXXS0208	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 38h 0Dh	Select Component		P/F
VXXS0209	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 39h 0Dh	Select HDMI 2		P/F
VXXS0210	56h Xh Xh 53h 30h 32h 31h 30h 0Dh	Select DP		P/F
VXXG0220	56h Xh Xh 47h 30h 32h 32h 30h 0Dh	Get Current Source	Return 1:RGB 2:RGB2 3:DVI 4:Video 5:S-Video 6:HDMI 7:BNC 8:Component 9:Display Port 10:HDMI 2	Pn/F

コマンドグループ 03				
ASCII	**16 進法**	**関数**	**説明**	**値を返す**
VXXG0301	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 31h 0Dh	Get Scaling	0:Fill 1:4:3 2:16:9 3:Letter Box 4:Native 5:2.35:1	Pn/F
VXXS0301n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 31h nh 0Dh	Set Scaling	0:Fill 1:4:3 2:16:9 3 Letter Box 4:Native 5:2.35:1	P/F
VXXG0302	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 32h 0Dh	Blank		Pn/F
VXXS0302n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 32h nh 0Dh	Blank		P/F
VXXG0303	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 33h 0Dh	Auto Keystone On		Pn/F
VXXS0303n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 33h nh 0Dh	Auto Keystone On		P/F
VXXG0304	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 34h 0Dh	Freeze On		Pn/F
VXXS0304n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 34h nh 0Dh	Freeze On		P/F
VXXG0305	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 35h 0Dh	Volume	n=0~10	Pn/F
VXXS0305n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 35h nh 0Dh	Volume	n=0~10	P/F
VXXG0306	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 36h 0Dh	Treble	n=0~16	Pn/F
VXXS0306n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 36h nh 0Dh	Treble	n=0~16	P/F
VXXG0307	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 37h 0Dh	Bass	n=0~16	Pn/F
VXXS0307n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 37h nh 0Dh	Bass	n=0~16	P/F

コマンドグループ 03				
ASCII	**16 進法**	**関数**	**説明**	**値を返す**
VXXG0308	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 38h 0Dh	Projection Mode	0:Front 1:Rear 2:Ceiling 3:Rear+Ceiling	Pn/F
VXXS0308n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 38h nh 0Dh	Projection Mode	0:Front 1:Rear 2:Ceiling 3:Rear+Ceiling	P/F
VXXG0309	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 39h 0Dh	Set vertical keystone value	n=-40~+40	Pn/F
VXXS0309n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 39h nh 0Dh	Set vertical keystone value	n=-40~+40	P/F
VXXG0310	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 30h 0Dh	Set horizontal keystone value	n=-20~+20	Pn/F
VXXS0310n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 30h nh 0Dh	Set horizontal keystone value	n=-20~+20	P/F
VXXG0311	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 31h 0Dh	Adjust the zoom	n=-10~+10	Pn/F
VXXS0311n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 31h nh 0Dh	Adjust the zoom	n=-10~+10	P/F
VXXG0312	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 32h 0Dh	Adjust the focus	n=-20~+20	Pn/F
VXXS0312n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 32h nh 0Dh	Adjust the focus	n=-20~+20	P/F
VXXG0313	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 33h 0Dh	Adjust the vertical lens shift	n=-20~+20	Pn/F
VXXS0313n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 33h nh 0Dh	Adjust the vertical lens shift	n=-20~+20	P/F
VXXG0314	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 34h 0Dh	Adjust the horizontal lens shift	n=-20~+20	Pn/F
VXXS0314n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 34h nh 0Dh	Adjust the horizontal lens shift	n=-20~+20	P/F
VXXG0315	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 35h 0Dh	3D	0:Off 1:DLP-Link 2:IR	Pn/F
VXXS0315n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 35h nh 0Dh	3D	0:Off 1:DLP-Link 2:IR	P/F
VXXG0316	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 36h 0Dh	3D Sync Invert	0:Off 1:On	Pn/F
VXXS0316n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 36h nh 0Dh	3D Sync Invert	0:Off 1:On	P/F
VXXG0317	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 37h 0Dh	3D Format	0:Frame Sequential 1:Top/Bottom 2:Side-By-Side 3:Frame Packing	Pn/F
VXXS0317n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 36h nh 0Dh	3D Format	0:Frame Sequential 1:Top/Bottom 2:Side-By-Side 3:Frame Packing	P/F
VXXG0319	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 39h 0Dh	Get Lamp Mode	0:Eco 1:Normal 2:Dynamic Eco	Pn/F
VXXS0319n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 39h nh 0Dh	Set Lamp Mode	0:Eco 1:Normal 2:Dynamic Eco	P/F
VXXS0320	56h 39h 39h 53h 30h 33h 32h 30h 0Dh	Screen Capture		

コマンドグループ 03				
ASCII	**16 進法**	**関数**	**説明**	**値を返す**
VXXG0321	56h 39h 39h 47h 30h 33h 32h 31h 0Dh	Get Splash Logo	0:STD 1:Off 2:User	Pn/F
VXXS0321n	56h 39h 39h 53h 30h 33h 32h 31h nh 0Dh	Set Splash Logo	0:STD 1:Off 2:User	P/F
VXXG0322	56h 39h 39h 47h 30h 33h 32h 32h 0Dh	Get Fan Speed	0:Normal 1:High	Pn/F
VXXS0322n	56h 39h 39h 53h 30h 33h 32h 32h nh 0Dh	Get Fan Speed	0:Normal 1:High	P/F
VXXG0358	56h 39h 39h 47h 30h 33h 35h 38h 0Dh	Get IR On/Off Control	0:Both IR turn on 1:Front IR turn on 2:Back IR turn on 3:Both IR turn off	Pn/F
VXXS0358n	56h 39h 39h 53h 30h 33h 35h 38h nh 0Dh	Get IR On/Off Control	0:Both IR turn on 1:Front IR turn on 2:Back IR turn on 3:Both IR turn off	P/F

コマンド 04 (リモコン)				
ASCII	**16 進法**	**関数**	**説明**	**値を返す**
VXXS0401	56h Xh Xh 53h 30h 34h 30h 31h 0Dh	UP arrow		P/F
VXXS0402	56h Xh Xh 53h 30h 34h 30h 32h 0Dh	DOWN arrow		P/F
VXXS0403	56h Xh Xh 53h 30h 34h 30h 33h 0Dh	LEFT arrow		P/F
VXXS0404	56h Xh Xh 53h 30h 34h 30h 34h 0Dh	RIGHT arrow		P/F
VXXS0405	56h Xh Xh 53h 30h 34h 30h 35h 0Dh	POWER		P/F
VXXS0406	56h Xh Xh 53h 30h 34h 30h 36h 0Dh	EXIT		P/F
VXXS0407	56h Xh Xh 53h 30h 34h 30h 37h 0Dh	INPUT		P/F
VXXS0408	56h Xh Xh 53h 30h 34h 30h 38h 0Dh	AUTO		P/F
VXXS0409	56h Xh Xh 53h 30h 34h 30h 39h 0Dh	KEYSTONE+		P/F
VXXS0410	56h Xh Xh 53h 30h 34h 31h 30h 0Dh	KEYSTONE-		P/F
VXXS0411	56h Xh Xh 53h 30h 34h 31h 31h 0Dh	MENU		P/F
VXXS0412	56h Xh Xh 53h 30h 34h 31h 32h 0Dh	STATUS		P/F
VXXS0413	56h Xh Xh 53h 30h 34h 31h 33h 0Dh	MUTE		P/F
VXXS0414	56h Xh Xh 53h 30h 34h 31h 34h 0Dh	ZOOM+		P/F
VXXS0415	56h Xh Xh 53h 30h 34h 31h 35h 0Dh	ZOOM-		P/F
VXXS0416	56h Xh Xh 53h 30h 34h 31h 36h 0Dh	BLANK		P/F
VXXS0417	56h Xh Xh 53h 30h 34h 31h 37h 0Dh	FREEZE		P/F
VXXS0418	56h Xh Xh 53h 30h 34h 31h 38h 0Dh	VOLUME+		P/F
VXXS0419	56h Xh Xh 53h 30h 34h 31h 39h 0Dh	VOLUME-		P/F
VXXS0420	56h Xh Xh 53h 30h 34h 32h 30h 0Dh	Enter		P/F